

水源禪師法話集 123

～佛說大梵天王問佛決疑經（宋代）解説～

（2023 年 4 月 23 日 web 法話 3 回目）

（2023 年 5 月 28 日 web 法話 4 回目）

2023 年 8 月 2 日

一乗禪の会



目次

水源禪師法話（4/23 法話三回目）

六大品第五①	3
六大品第五②	12
降魔品第六①	14
降魔品第六②	32
往生品第七①	34

水源禪師法話（5/28 法話四回目）

混迷を深める世界	47
往生品第七②	49
過去七仏偈	68



水源禪師法話

六大品第五 ①

六大品第五

爾時舍利弗。即從座起。合掌向佛。而作是言。世尊我依如來神力。得大智慧。普知世間及出世間一切諸法上世之時。有轉輪王。布於世間治世正法。而說眾生身心。即是木火土金水成也。如來所說異之。而說空風火水地所成也。何為是乎佛告舍利弗。汝善如來。問之如是。彼上世時。轉輪聖王。依大梵天大聖王說。唯說天地成後之法。七佛所說。見其未成天地時事而說。此法未生眾生。前成大地。未成大地。前成諸天。未成欲天前成陰陽。未成陰陽有大氣。大氣者。是大空之有空。無始無終。茲有大法。亦此大法無始無終。與空同元。當知此法。是即正理。猶為空主。是名法性。名如來藏。依此法故。大空有氣。依此大氣。能作陰陽。依此陰陽。作上天。依上天故。亦作大地。成大地故。生諸眾生。眾生亦依彼法成覺。成大覺者。即名諸佛。是故七佛說六大法。所謂空風火水地識。是空者。是即氣興一也。是名金行。成肺主屬。風者氣動。是名木行。成肝主屬。地者土成。名土行。成脾主屬。火者火行。成心主屬。水者水行。成腎主屬。何故不謂金。謂空大。謂金行。則唯限實體。不通空處。謂空則通空兼實故。何故不謂木。謂風大。謂木行。則唯限體支。不通用動。謂風則通用兼體故。何故不謂上。謂地大。地者土成。成以成大。依大成故。何故不謂五形。而謂為六大也。謂五行則成天地後。唯當人間不當未成。謂六大者。天地前後皆攝謂之。何以故。聖者轉輪大王。唯謂天地。不謂天外。轉輪聖王唯治人倫。不治外故。諸佛如來知十界人業因報果。此業力成天地眾生。乃至成佛。謂始中終。故不同說。白佛言。世尊如佛所說轉輪聖王。誤惑言耶。佛言不爾。轉輪聖王。依梵天說。但治世間。上者登天。中者化仙。下者治人。不說出世。是故不說天地外法。三世諸佛導世出世。上者成佛。次成菩薩。次成緣覺。次成聲聞。能出世間。能成聖位。中者登天。次登神仙。次治人間。能治世間。能成王法。下者脫於諸畜生界。次脫餓鬼。次脫地獄。能離苦界。能生善道。是故能說天前天後因果正法。白佛言。世尊大梵天王。長壽久存。七佛所說。面正聞之。云何不說七佛說也。佛言善哉。如汝所問。雖然如是。七佛所說。久而斷滅。不傳人間。劫初輪王出世之時。大梵天王雖知此法。未成妙覺故。不盡知其因果法。能待後佛出世時說而不說也。過去諸佛現在我佛未來一切佛時。如是我法東漸東方諸國。次第流布。其諸國法亦復如是。白佛言。世尊云何說空。佛言。空主肺臟。及主身分。六腑六臟氣血通道。九穴毛孔皆是空大。白佛言。世尊云何說風。佛言。風主肝臟及主心身支大動作。皆是風大。白佛言。世尊云何說火。佛言。火主心臟及主身溫皆是火大。白佛言。世尊云何說水。佛言。水主腎臟主腎精心身支大。血脈津液。皆是水大。白佛言。世尊云何說地。佛言。地主脾臟及骨肉堅體。皆是地大。白佛言。世尊六大法者。持何道有。又有修行哉。佛言。六大皆如來藏。合於本元。如來藏之。正善覺聖。是名修行。是修行者。皆

成佛道。背是修行。恣妄亂行。如是眾生。皆隨生死。生生世世流轉受苦。無有盡期。如車輪迴。識可悲愍。

『この時に舍利子は席より立ち、佛に合掌して質問しました。』

原文では舍利弗と言っています。何故、舍利弗が舍利子になるのか？というのは、シャリ・バンテは最早、白仏といって阿羅漢の上に成っているわけです。だから、原文では弗、弗と言ってペチカブッダ(Prateeka-buddha 梵語)の位に成っていますから。ほとんど何でも知っている方なのです。それで、この時に、舍利子という訳を入れました。というのは、日本の人は分かるのか分からないのか。それでちょっと説明しました。

『私は如來の神力に依って、大智慧を得て、世間及び出世間の一切諸法上の世で、知られている轉輪王の世間の治世が正法の時に衆生の身心は、木火土金水で成る事と如來の説では異なり、空風火水地より成るとは何故でしょうか。』

この空風火水地。これが五大。今でもインドのヒンドゥー教の八百年前に造られた寺院に、これに識、もう一つ意識の識が入って六大、一目で一般の衆生が分かるように彫ってあります。

(駒沢大学初代学長の滑谷快天氏の偽経説は完全に崩壊しました。また日本全国で、滑谷快天氏の偽経説に同意してる方々は四念処の Vipassana を終了しているのだろうか?! Theravada、Mahayana と Tantrayana の修行体験体験なくしては読めないようになってます。)

これは、非常に誤解されるのは、木星火星土星金星水星の運行の事も絡まっているわけです。天文。物質で説明しているけれども、この物質が出来る状況は、この天文と非常に重なっている訳です。それは皆さん、天文学でご存じだと思いますけど。その物質に依って私達の身体が出来ているから。それに意識の心に依って、宇宙は意識だから、この意識がどれだけ進化していくかという事だから。

『舍利子よ、汝の善き如來の説く事の間は、その時の轉輪聖王の世で、大梵天大聖王の説です。七佛説は天地が成って後の法で、其の法は未成天地時の事の説である。此法は衆生が生れず、大地が出来る前の未成の大地と未成の諸天で、欲天が出来る前の陰陽の大氣が出来る前の大氣で、』

はい、これ(笑)。頭クラクラすると思いますよ。何故かと言ったら、結局、太陽が出来て、その惑星が出来て、そしてこの大地になる前の世界の事を言っているわけです。何故かと言ったら、私達はこの人間の身体しか理解出来ないけど、この宇宙にはありとあらゆる形態の生命が居るわけです。火の中で生きる、石の中で生きるとか。それは金剛般若波羅蜜多經に、ちゃんとお釈迦様が説明しているから、簡単にここで説明しておきます。

この陰陽の大氣が出来る前のこの世は、欲界と言って、その上には色界というのがあります。ブラフマンが住む時空があります。この欲界の私達の宇宙には見えないけ

れども。天体望遠鏡を使っても。というのは五次元の維摩経で、その時私は無量阿僧祇劫の法門、今は・・五次元の世界でしかこれが分からない状態だから。

というのは、現在、もう天文学は崩壊しました。今までの常識が完全に崩壊しました。だから、物理化学全てここから発生しているから、もう一回書き直さなければならない。全て。ところが私の体験では、その通りとしか観えない、このお経の通り。

欲天、色界、色天、無色界。これを体験しなければこのお経は読めないようになっていく。全くちんぷんかんぷんになってしまう。だから、欲界に六道の世界があります。天界、地上、餓鬼、修羅、畜生、地獄、ちゃんとあります。観ました。この事です。

『是の大空の空は無始無終の大法により、』

大空というのは、この空は大スペースです。大宇宙。無始無終。というのは、今、ジェームズウェッブ・テレスコープで、この宇宙が出来前の天文説の空間ににしっかりした銀河がいっぱい在るわけです。で、そこを飛び越えた時に、その奥は何にも無い。空っぽ。それに、この宇宙以外にも、他の時空にいっぱい宇宙が在ります。

今、頭が混乱してクラクラしているのが天文学者達で。その下に居る科学者たちは、それを基にして科学を進めているから。カクミチオ(角 道男?)博士さんだったかな? 日系の偉大なコロンビア大学の教授が「全部書き換えなければいけない」と言っています。正直に。これが良いわけです。間違ったことを間違ったと認めて。隠し通したらこれが罪悪になるわけで、ま、そういう事で。

『大法も又無始無終です。空は元より同じと、この法を知ることが正理で、空主に依るものである。』

空はスペースの事、大宇宙スペース空間世界。空主、これを司る方が居るわけです。識の世界だから全て。一切唯心造。だから簡単に言葉の綾で「ああ、分かった」じゃないわけです。その時空を体験しなければならない。虚空蔵菩薩の時空。こういう事を日本では誰も言った事がないはず。体験してないから。ただ虚空蔵菩薩と。

虚空蔵菩薩の彼方に無の時空が在り、その無の時空の彼方に大平安の時空が在るわけです。これはカシナ、ヴィパッサナーのカシナ、第八禅定、第七禅定の時に体験出来ます。これは只、座っただけでは出来ない。ちゃんとお釈迦様のアビダンマの教科でやって行かなければこの体験は出来ない。ただ今の世では出来る修行体験者の数が少ないのです。

日本には学者さんがいっぱい居るけど、理論だけでしょう? この理論、大宇宙の天文学が全て狂ったわけです。数学も、数学を私もやったけど、数学も明日はどうなっているか分からない、何時崩壊するか? という状態。

(エジプトのギザピラミッドには総ての数学の公定式で有り、宇宙のユニットNo.52. 36cmと cm、インチ(2. 54cm)と円周率を明快に把握しています。)

今、私達は理論理論理論と言っているけど、その理論が滅茶苦茶なのです。メチャクチャ。だから今、戦争起こしてめちゃくちゃやっています。

『是が法性で、如來藏です。』

言ったでしょう。法性一円融と。この事。

『此の法に依って、大空の氣が有り、此の大氣に依って、陰陽が作られます。』

道教の陰陽。

『陰陽に依って上天（大氣圈）が作られて、又上天に依って大地が作られ大地を成すので諸衆生が生まれて、衆生が此の法に依って覺成します。成是で大覺者が出来て、諸佛成り是に依って七佛説の六大法と成る。故に空風火水地識なり、』

空風火水地識。つまり、空、スペースの時空。風火水地をルーパと言います。物質です。全て。空というのはスペースで、これはナーマルーパ、物質では無い。風には風の物質が在ります。火の物質、水の物質、地の物質が在ります。識は全く別。永遠不滅。

『是が空の元氣なり。是が金行で肺の主です。』

何故、**金行**というのが出て来るのか？つまり、この私達の世界は七つの天体の動きで全てが出来ているわけだから。これは正キリスト教の奥義で。一般の人はあまり分かっていない。ユダヤ教も七つのローソクを立てるのはここから来ている。水星金星火星木星、土星、月と太陽で七つ。他の惑星はあまり影響しない。この力に依ってという事であるから。経典を確かめるには、他の宗教も見て、討議しなければならない。

特にユダヤ教はエノックと言う方が「仏の教えに従いなさい」と。本当の教えは仏の教だと言っているわけです。アダムの子孫、ノアが船を作って生き延びたという伝説ですね。

仏教は壮大な教えだけど、これ無くして涅槃には行けないわけです。こういう事もちゃんと知っておかなければならない。金行です。

『風の氣の動を木行と言い、肝臓の主です。』

木星です。

『地の土が成るのは土行で脾臓の主です。』

土星です。

『火の火行は心の主です。』

火星。

『水の水行は腎臓の主です。』

水星。

『なぜ不調金かは空大の金行の元気の不通空で身体に制限されるからで、空則通空が実態です。』

これは身体が不通になった時、実は金星の動きで身体に反射して出来ているのだけれども、実際は私の身体だけでその力が上手く伝わらないという事。

『なぜ不調木かは風大の木行の気が身体の部分に制限されて、不通用動に成り、この風則通用体になるからです』

通用体になれば元気に成ると。

『何故に不調かは上記に述べた様に、地大の地が土に成り。これで大が出来て、大成に依る不謂五形で、為に六大です。』

結局、五大、空水地火風、ペンタゴン、アメリカ、三角関数のピタゴラス派。この宇宙は全てペンタゴンだと。五角形。リングを横に切ってください、五角形になっているから。

という事を一般の人は全部知らない。五角形は540度。それを5で割れば108。だから、数珠は108あるでしょう？

それから太陽と地球の間は108。地球と月の間の距離の108倍。月と地球を108個並べたら大体その距離。これが全て組み合わせあって、一般にはこういう情報が無い。だから、五角形。カソリックのお坊さんが、五角形の帽子を被っている。ここから来ている。全宇宙の秘密を私は持っているという事。(北海道、函館の五角城)

五角形がしっかり成っていないから、六大ですと。意識が組み合わせっていないから。

『謂五行は天地が成る後の法則です。それに人間も未だ居なく、』

私、説明したでしょう。木の生命体、ありとあらゆる石の生命体。石の生命体とは？お釈迦様は「石にもちゃんと靈魂がある」と。「非常に劣悪で、ほとんど鈍感である」と。ダイヤモンドの生命体は大体200万年。真珠の固い宝石の石か土かは大体200年。この事を言っているわけ。

『六大が天地前後の総てで、』

この六大、今五大だけど、識ね。空水地火風識。識は永遠不滅。

『是による聖者轉輪大王は天地だけで天国では無い。轉輪聖王は、人倫だけで治める事は無い。』

人間だけを治めるのではないと。宇宙の動きも全て。

『諸佛如來知十界人業因報果の業力で天地の衆生が存在して成佛に至ります。』

地球が破壊して、全部破壊して、何も無くなる時が来ます。で、又地球が出来て。その時は、まず水が出来て、そして大地が出来て、そして人間が出て来ます。最初の間は空中からパッと出て来ます。これが仏法の説です。で、今の世の中に成って行くわけです。段々と。それを【生住異滅(しょうじゅういめつ)】(すべての物が生じ、とどまり、変化し、なくなってしまうという四つの相。)と言います。四つの大行の中の、今私達は「住」で非常に安定した社会に居るわけです。こういう時代でも。そこで人間に生まれて成仏するという。

ま、想像を絶する所に私達は居るのだけれども。全ての生命体は仏であるとお釈迦様はおっしゃって。何故かそれは毘盧遮那仏から関係してきます。ここに書いてあるから説明します。

『始中終が不同の説は此の為です。それでは、世尊如佛の説を轉輪聖王が誤解しての言語ですか。そうではなく轉輪聖王が梵天の説に依って、世界を治めて、』

世界というのは、天空から何から全て、

『上は登天させ、』

天国に行かせ、

『中は仙人にし、下は人を治めて、佛の出世の無い説なので、是が不説天地外法です。三世諸佛導く佛が出現した世界は、上が佛、菩薩、緣覺、聲聞が能く世間に出現して、また聖位も出現します。中は天に上り、神仙に成り、』

緣覺はペチカブツダ。聲聞はアラハト。神仙は達磨大師や龍樹菩薩、そういう方々の事。

『そして人聞や世間を能く治める、王法者に成る。下は諸畜生界、餓鬼、地獄より出でて苦界から離れ、善道に生れます。是が天前天後因果正法の説です。それでは、世尊様。大梵天王は長壽久遠の方なので、七佛所説を直接に佛より正聞し、七佛説を説かないのは何故でしょうか。汝の質問はとても良く、当然のことです。七佛所説は久しく斷滅して人間には不傳で、劫の初めに輪王が世に出た時は大梵天王が未だ妙覺を得てないので、其因果法知る事が出来なく不説で、佛が出て世にこれを説いたからです。』

仏が出なかったから、大梵天王でも分からなかったと。

『過去諸佛現在我佛未來一切佛も同じく説きます。是の法は東に段々と東方諸國に伝わり、其の諸國の法もまたこの様になります。それでは、世尊様が説く空とは如何に。佛の説明は、空主が肺臟でまた身分の主で在り、六腑六臟氣血通道で、九穴毛孔皆是が空大である。それは、世尊の言われる風とは？ 』

風とは？これは空気の事。空主は、この空はスペースの事です。大宇宙のスペースも、あなたの肺の中のスペースも一緒という事。風というのはかぜ、呼吸、空気の事。

『風主が肝臟及び心身支の主で大動を作り、皆是が風大です。』

風主というのは、グラビティに関係して来るのです。ニュートンが、リンゴが落ちるのを見て発見したグラビティ(重力)と関係して来ます。

『それでは、世尊の説かれる火とは？ 火主が心臓及び身温の主で皆是が火大です。』

簡単に説明します。結局、何故太陽が生まれるのか？どういう仕組みなのか？という事とも重なるから。詳しく言えば、又頭がクラクラしてくるだろうから。

『それでは、世尊の説かれる水とは？水主が腎臟及び腎精と心身の部分の主、又血と体液の主。皆是が水大です。』

この水大とは海の水でもあり、川の水でもあり、池の水でもあります。今、宇宙にはあっちこっち沢山水があります。そこまで私達は解析出来るようになっている。

『それでは、世尊の説かれる地とは？。地主が脾臟及び骨肉堅體の主。皆是が地大です。』

という風に私達の身体は全てこの、周りに在る物で作られて、その周りに在る物質は天体の動きに依って作られているわけです。

『それでは、世尊の六大法は何を持っての道で、又修行はいかに？六大皆如來藏で合体して本元で、』

これは毘盧遮那仏の身体の仕組みで出来ているという事。

『如來藏の正善覺聖です。是が修行で、修行者が皆な成佛の道です。』

お釈迦様が仏に成る前、ある比丘の時に、犬にも魂があるという事で、全てに頭を下

げて拝んだという話があります。この事です。

だから、皆さんが必ずや仏に成る。何時の日にか仏に成ります。

『これに反する修行は無謀な行動で、衆生はこの様に生きて皆生死に従い、生まれ生まれて、世と世を流れ流れて苦の人生が尽きることが無く、車輪が延々と止まることなく回る悲しみを知る輪廻転生です。』

これが私達の一般衆生の世界。



六大品第五 ②

白佛言。世尊云何說識。識主魂魄。及主命門。一切精氣。皆是識大。爾時舍利弗。白佛言。世尊有情氣。盡已命終時。地水火風空。皆散盡有何身分。向其中有。亦向後生。佛告舍利弗言。如汝所問。眾生身分依果報限。以天命生。受父母氣成身分故。果報盡時。天命限時。至死期。而地水火風空。大散滅。雖五大滅。識大不滅。何以故。識者不依果報有故。不命生故。不氣受故。無始無終。如來藏故。識以性理。地水火風空大為身。空體以冥質存。俱依善惡業因成生。今生業。如其依。業位。捨此地水火風空大。而亦受彼地水火風空大。亦生生時。以濕胎卵化生隨其界。而受相應生。隨其果報。生六道中。是名流轉三世。諸位悲此境界。出人間界。廣說是理。能令眾生歸於六大如來藏理。日日六大。時時六大。不捨不忘如來藏理。能合是理。是名六大法身修行。

『それでは、世尊の説かれる識とは？ 識主が魂及び命門の主で、一切の精氣が皆、是れ識大。それは世尊、情氣が已の命が終る時に、地水火風空が皆散り去り、身分の中有(中陰身)と後の生では？ 汝の質問は、衆生の身分が果報に限れるので、天命を受けて生れ、父母の氣成身分の為に、果報が尽きた時に、天命が限り死期に至り、地水火風空が大散滅して五大滅します。』

身体がもう無くなると。

『識大は不滅なので、識の果報有に依らないので、不命生為に、不氣受と成り、無始無終の如來藏の識の性理により、地水火風空大の身の空體の冥質（靈魂）が存在して、善惡業因を俱に依って生れます。今の生業は其に依る業位で、此の地水火風空大を捨て、亦た彼の地水火風空大を受けて、亦た生をうけて、生れる時に其の業位で濕胎生、卵化生とそれぞれの界に相應して生れます。隨其の果報に依る、生六道中で是が流轉三世する諸位悲しい世界です。人間界より出世の広く説くのは是の理からで、能く衆生は六大如來藏理に帰依して、日日六大、時時六大と如來藏理を不捨、不忘して、能く是の理を体感するのが六大法身修行です。』

六大の彫刻はどこで見える事が出来るのかと言ったら、ヒンドゥー教のモデラー・サン・テンプル。クジャラット州にあります。800年前に作られたお寺と言われています。

今度は六章に入ります。



佛告阿難。阿難當知此經誠實。難信難行。非謂此經不相應人無信無行。此經最上成佛直路。為最上者。必有魔障。以是理故。難信難行。何為魔事。有四種魔大障弘通。一者天魔作障魔。二者外魔。三者他魔外道邪見魔。四者自魔。有如是障。誠是難行。真是難治。何為天魔依是經者。無不成佛。是故天魔常作障難。雖至世間弘通之時。橫遮不至其弘通時。或雖世間有弘通人。又令無伴侶者。或令傍人為誹謗難。或招災難。令中生苦。或託於人。告此經非七佛說。或以說弘於世間。令謂此弘人行邪道人。或付天子國王三公。令欲不弘此經於國。悲哉此經為魔被遮。不廣於弘通流布。我以佛眼。見此難治。唯不依經文字章句。以此經理。傳於心心。廣令世間弘通流布。又以方便。令觀音等諸大菩薩能藏持之。留此經卷。同我護念。不永斷絕。阿難當知。持傳此經。是人即是大力菩薩。真實行人。何為外魔。當有二種。一者歸氣斷滅魔見。二者成神鬼界魔見。何為世學歸氣道人。學世間教。不知心造天地萬物善果惡果乃至十界解知天地五行萬物人間五虫皆是氣造。元氣分散。心亦分散。成虛無心。無後果報。因果撥無。當墮惡趣。悲哉此人不知教。起此教法者。高地菩薩。作轉輪王。出於世間先見時節。為人間治。設氣造教。心造教者。待起佛說。雖此教宗。不說無心無神無報後出外道。以自凡心。妄計妄解。轉輪聖者。所設聖教。或失其傳。私設無見斷見等旨。妄立此宗。此國他國。乃至三千大千世界。劫初所出諸聖王者。皆是高地大菩薩也。是故所說。一切教示。無有邪妄。皆是正教。以正以善。能治國土。依人民心。此國他國。今時後時。諸外道者。皆立私旨。破我聖教。豈唯破我所說說教。還破上世聖王所設說示教宗。如是長邪作妄解。故此人時見我知見徒還作誹言。不知真理。妄迷顛倒。作無益行。大遮歸向。我知見門一切人民。無此經道。何為世學成神道人。但守一世。不慮後世。唯知人死成鬼成神。不知出離生死成佛。此教亦復聖王所設。聖教旨也。世下時。遍。遠聖者故。妄作此解。長記長才。妄學旨者。為修心身。非為才記。妄己不治。唯破他教。悲哉此人亦復不知此教本是聖王所設。而不差於如來所說。還見知見成佛道人。誹謂不解天真本性道。無成佛在法界宮。亦無佛居十方淨土。亦無作惡人居地獄。皆是佛者以妄語。成此知見。人不知是理。是甚愚人。遮歸向人。何為釋中典會魔。當有四種。一者文字博學見魔。二等愚痴要約見魔。三者易行著相見魔。四者難行著相見魔。何為文字博學見魔。著文沙門。於我所說諸大乘經。盡藏盡部。分別文句。作解作傳。講之釋之。唯明文字章句義理。稱我大智多聞強記一切經義通達無暗。不知其經真實道理。皆在己心。諸經言者。諸言者。說己心理。非文字義。侈學。侈才。立我立慢。還滅我教。深入邪道。成魔伴侶。聞口說言。即是佛語。察意解理。即是外魔。悲哉此人不知諸佛出世說法教化本意。若不開悟佛知見道。不修行成修滅凡業。修成聖業。修滅凡氣。修成聖氣。而但應長多聞多才口給辨。如來出世說法何益。如是愚人。『還見真實。不立文字。知見心性。作佛道人』。太作誹謗。謂是魔徒。大遮歸向於此經道。一切行。如是邪人識難治之。三世諸佛。一切人。菩薩。無有一佛。亦一菩薩。唯解文字。唯持多

聞。不覺心性。不修覺道。已成佛道。當成佛道。如是愚人。非我弟子。是為魔徒。何為要約。愚痴見魔。無智沙門。於我所說。諸教經中取一要文。深著其理。悉捨他教。甚深法門。非是真實。非是要道。擇是擇彼。一切廢捨。日日增信。自執妄見。時時增厭。諸佛廣道。強著強執。次第入暗。捨智捨覺。終成極愚。設諸佛現雖破此邪。諸大菩薩雖破此愚。不聞不入還作瞋邪。亦作大謗。道汝不知。妄破我法時見此經。知見道人。謂是迷人不解要法。妄作覺解。諸佛如見。是知見道。廣博無益。云何愚人應能解之。設有能解示天何益。『但捨知見。入惡道』。如是教化。遮我大道。悲哉此人不知諸佛修行成事。一切諸菩薩者。生生增智。世世致理。劫初益見。代代格覺。如是愚人諸佛誠度悲之。阿難當知。如是愚人設得六通。現三昧相。如是天魔化來所作。勿生一念歸信之心。如是愚人誠難治之。三世諸佛一切菩薩。無有一切。亦一菩薩以一句義。不通眾理。持一要文。不明性道。捨智成愚。一向無機。已成佛道。當成佛道。如是愚人非我弟子。即是魔徒。何為易行著相見魔。無力沙門。於我所說諸教經中。為化愚痴無根之人。任於過去諸佛方便。亦不得止。設方便教。或歸一佛。的一菩薩。或持一呪。持一經句。歸之信之。不依難行。滅罪解毒。方便成路或有破戒劣根沙門。倦修眾聖真人正道。如渡得船。見之歡喜。悉捨諸佛戒慧道。一向著住此方便道。不知諸佛不得止。設纔時方便。權假之道還以此權假方便。為最上法。謂無上路。或作邪思。為我能得一切道人。未見未得最上妙法殊勝妙路。招諸愚人。為彼愚人。設講設會。廣說敷演。而謂此道最勝極妙。唯限此路。眾生成佛。諸餘經道皆是難行。一切凡夫皆是下根。若下根人依難行道。百千萬人中。雖一人。實不可有得成佛道。於茲一切魔魅。得便加勢加利。冥成助故。日日長其信心氣。亦日日弘長其邪法流。亦復一切愚人迷俗於。功。茲得幸大作歸伏。所以者何。一切愚人好惡。惡事。懶於善行。雖然如是。一切賢聖一切諸佛。已說今說。作惡人者。非是人間。非是佛徒。今過罪害。後生惡趣。生生世世得惡果報。永絕成佛得脫大路。是故捨好忍懶。勤修。依戒。依定。依慧。修度。忍難。忍苦。依聖學教。恐罪捨惡。趣向聖道。然今逢此大易行說。不依賢跡。不依聖道。永離惡趣。直得成佛。大慶大喜。皆人此教。於茲即廢諸佛正法。豈唯廢我成佛法。也即廢王法仁義聖道。所以者何。令諸人心深著易行。不知道理。以是理故。親罪親過。親迷親妄。親惡親邪疎父疎母。疎君疎臣。疎聖疎賢。疎天疎命。豈唯是自然廢聖道也。彼邪沙門。見此經知見道人。甚大惡之誹謗而謂此修行人。不知直路。遠迷久惑。留難行道。知見道者難解難入。濁惡世中絕不相應下愚人民。千萬億人於中無迷口一。成就此道。誠可哈之。此邪言流布於世。大遮入。於知見道人。悲哉此人不知諸佛設方便旨。諸佛設此方便路意。欲先教之。因是為緣。起信近佛。漸漸增益一切佛種。引入佛道。開示悟入佛知見道。令得成佛。阿難當知。念三寶者。是為至於知見寶處中路舟筏。爾此愚人不知舟筏。執此舟筏。還遮寶處。誠可悲之。名非遮此佛知見道。還遮自己念三寶道。所以者何。或是念佛。或是念法。或是念僧。雖是皆實諸佛說法。是愚沙門所念之心。即邪念故。念三寶法即成邪法。修邪法故即墮魔道。自墮魔道故令他墮魔。自墮他墮皆破佛法。破佛法故破念三寶。豈唯墮魔邪類中也。終墮無間大火坑中。無量無邊

大劫數間。受無量苦。永絕佛種。如是愚人誠難治之。三世諸佛。一切菩薩。無有一佛亦一菩薩。不依此經。佛知見道。念一如來。念一經句。念一菩薩。唯是一行。已成佛道。當成佛道。如是愚人非我弟子。即是魔徒。白佛言。世尊如是愚人云何得脫魔法魔徒。應還信佛。佛言阿難。如是愚人即止慢心。迴心還思。應當思念。我是愚人。我是惡人。當墮三塗火坑之中。但有諸佛。以大慈悲。能設方便。為我等故說此易行念三寶道。令我愚人永離三塗。是尚慶餘應如是我往淨土者。誠不思議我法方便。更不應對他人勝道。如是思念。或念佛寶。或法佛寶。或念僧寶。向其念寶。一向專念。無他思求。依我劣根。無由勝道。唯歸如來方便之道。於自他相。無是無非。不遮他道。唯向自身。拂心垢。欲專念誦。則眾魔退去。其三寶現。自無罪亦他無罪。故即成我教。念三寶法若一念。生自勝他劣增上慢心。還作魔行。亦離佛行。諸佛真實知見道。尚謂自勝他劣等者。即為魔道。何以故。此佛知見者。為得作佛耳。非為見自勝他劣生慢心故。何況於為修佛方便劣行尚爾。以自劣為勝於他勝道也。何為難行著相見魔。有沙門我法中。為極惡人。及極愚人。亦極邪人。亦諸闍提。生盲生聾。諸佛神力。諸菩薩力。一切不及。以佛方便。設一絕妙不思議術。以神呪。呪一切罪人。令得解脫。於此呪術法爾。自然有十種功。何為其十。一者凡夫轉成聖仙。二者罪惡轉成善德。三者闍提轉成解脫。四者流轉轉成往生。五者魔障轉成賢業。六者病惱轉成治安。七者中夭轉成長壽。八者天災轉成神福。九者怨敵轉成恩伴。十者兵亂轉成靜平其餘尚有無量神驗。此呪術者。難行苦行。而面前現種種神驗。或有邪念上根愚人。或利欲者。為世歸依。或樂驗者。為驗術故。入於山林識濯木食種種難行。得大神驗。出於世間。驚一切人。即謂是法諸佛法中最上最勝化諸人民。引入邪道。不知如來方便所設。唯樂一切奇怪妄事。永沈邪見。悉墮魔道。終必當墮三塗火坑。豈唯自成奇怪。邪徒自失正道。還令諸佛大聖道。共成奇怪。法無其正道。誠可悲之。阿難當知。諸佛如來。設此方便神驗法者。第一為欲難救罪人。能救令入解脫門也。是故諸佛以初五功為真實設。第二亦以慈悲心故。於現世生。欲天下平萬姓安故。以後五功為次。實設其餘有驗。皆是呪力自然功驗。自然此愚人。著其神驗種種奇怪無益名譽。忘失本意成佛實驗。瀧水逆流山嶽移他。呪縛鬼神。呪水為湯。是事何益。但實得脫。有道沙門。令損國水之逆流。令害人鬼呪。之縛者。是有益故。即是佛事。除如是術。彼邪驗人。時見此經。知見道人。還作誹為無功無德。謂道人愚痴。不知我有功德。修無功能。下劣淺道。大遮諸佛真實正法。如是愚人誠難治之。三世諸佛。一切菩薩。無有一佛亦一菩薩。不依知見成佛正道。修無益驗。已成佛道。當成佛道。如是愚人非我弟子。即是魔徒。何為知見差路障魔。當有十類。一者禪坐不得迷魔。二者辨達不悟迷魔。三者凡聖不別見魔。四者慮難不發見魔。五者慮易差路迷魔。六者知見不修見魔。七者能修不見迷魔。八者見空不中迷魔。九者見滅不實迷魔。十者心教不同見魔。如是等有無量魔見。但以略示此十類魔。學士觀察。勿墮此中。何為禪坐不得迷魔。趣向知見。一乘道人。為工夫故。修行禪定。從朝至晚。從夕至曉。但空靜慮。日久年久。如是漸了見無。物心寂然空。無想無念。見此空。入為是佛性道。我禪中。得佛知見。更無顧故。不知諸佛知見道者。心是聖是智。是覺是

理。但空寂體。是知一端。又未真實。如是久修。習練定心。得定中靜。又以非真佛性故。無起時靜。故於定中。心靜空淨起故。定時心散。生平有人道之定時起時。心差別非於此。又迷不知心散。是依不得實知見故。還唯心散。是依修禪尚未練。故益修空定。隨修入空。唯見絕空了。不得實佛知見道。學者須知。勿入此魔。若誤入者。設經劫數。不得知見。魔恐此魔。何為辨達不悟迷魔。趣向見知。一乘道人。見維摩等住不思議解脫大士。機辨活發。無礙自在。思知見性機辨妙。而專代辨達。行住座臥。唯行機活。久修之故。終得習練。而至得自在。而惟我已得諸佛知見辨自在。心不顧理。理不知諸佛知見道者。是誠是雅。是靜是德。但辨達機德。『是知見一端。而未真實』。

『阿難よ、難信難行ですが、このお経を誠実に確りと知りなさい。不信不行の人には非常識的、非理論的な説明である經と見るからです。此の經は最上成佛の直路で有る為に最上者には、必ずや此の理の為に、魔障が発生する事に成るから難信難行です。魔の事とは、四種の魔の大障害が起こります。一に、天魔が作る障魔、』

何故かと言ったら、私が仏法を広める為に色々な事をしたけど、良い事をしようとしたら、必ず潰されました。

『二に、外よりの魔、三に、他の魔の外道依り邪見させる魔、』

結局、佐々井秀嶺さんが「天国も魂も何もない」と言ったとかなんとか言っているけど。こういう噂を流す人が魔の一途であって、何も分からず無知だけで言っているわけです。これが本当に悪い事で、恐ろしい事。ちょっと話を入れますけど。

昔、お釈迦様が王族の一人を比丘にして、その比丘が全くさっきの噂のような事を話し広めたわけです。その事は第四禅定に入って全て解ったと思いながら、奇跡を起こす苦行行者を見て「これは素晴らしい」と。その説に依って、「天国も地獄も何も無い」と。そういう事を言って、お釈迦様の前で阿鼻地獄に入って行きました。その名前は、善星比丘という事で、大乘にも南伝にも同じ話があります。

『四に、自己の中に居る魔の四障害が天魔に依って此の經者の災難と成り、誠に難行で真の難治で不作成佛させる為です。』

私も時々、あ。自分の中に魔があるっ！と気が付く時があります。だから、いつも私は自分の心を観ています。何故こんな事を思うのか？何故こんな事をするのか？一体これはどこから出て来るのか？という事です。

『この様に、天魔は常に障難を作り、世間に弘める事を難しく、また幕張したり、世間の人々にとって難しく、又は無縁の人に成り、或いは傍人依り誹謗難を受け、或いは災難に会い苦しい中で生き、或いは世間の信用ある人に、此經の七佛説を間違いですと言われます。或いは世間に弘く説く事に依り、此の弘人は邪道行人と烙印を押されます。或いは天子、國王、三公(大臣達)より、此の經を國に於いて広めることを禁じられます。悲哉かな此の經は魔に依って遮られ、依って弘く通流廣布が出来ない事に

成ります。』

このお経は日本国立図書館にあります。又、東京都立図書館にもあります。東京大図書館、京都大にも在ります。在りながら、間違っているから、その訳を見たことがありません。こういう状態です。

『私の佛眼より見てとても難しい事なので經文字章句を使わずに、此の經理を心心伝印に依り廣く世間の人々に流布し、』

心心伝印。達磨大師様の手法が中国で出て来ました。結局、座禅で体験するしか無いわけです。

『又方便をもって 觀音等諸大菩薩の能く藏持して此の經卷を留め、私の護念に依り永く不斷絶にします。阿難よ、此のお経を用いて伝える人は、大力菩薩で眞實の行者です。外寄りの魔は二種類在り、一は歸氣斷滅魔見、二は成神鬼界魔見です。之により世の學門は氣の道教を學び、心に依って、天地萬物善果惡果(因果)と十界解知天地五行(創造原理)の萬物・人間・五虫(甲、鱗、毛、羽、裸)皆な氣で造られる事を知らないの、元氣が分散し、心もまた分散し、無心も虚ろに、果報も結果なく惡趣に墮ちます。悲しや、此人達は此の聖教を知らず。此の聖教法者は高い地の菩薩で轉輪王と成り、世間の時節の先見して人間を治めます。そして氣造の教えと心造の教えが、佛の説く所であり、世尊の教宗であると教えます。無心・無神・無報と後世に出る教えは、外道の自尊心と妄想で作られた教えで、個人的に此れを偽經と發表して無見斷見經にします。』

初代駒沢大学学長、忽滑谷快天氏の偽經典論文の發表で、このお経が日本での江戸時代の偽作であると。これは有り得ない話。この忽滑谷氏は南伝のアビダンマ修行(1990年第に初めて世界に公開)も知らないし、ヴィパッサナー修行も知らない。それ失くしては全く理解出来ない。今から百数十年前の話だから。これが日本の現状です。

『轉輪聖者は此の聖教の教えを保護、或いは取り戻して、この國や他の國そして三千大千世界に伝えます。劫の初より諸聖王者達は、皆な高地(十地菩薩行の高い地位)』

弘法大師様がこの事を十住心論で述べています。

『大菩薩で是のお経の説が一切の教えを示し、邪妄では無く正しい教として、正善で能く國土を治めて人民の心、此國、他國に慕われます。今後の諸外道者は、皆な個人的な意見で、』

個人的で何も分かっていない。今、大宇宙論が潰れるもんで、これがあれだこれだと本当に言える人が居るのだろうか？このお経は二千五百年前にお釈迦様が言った事で。あまりにも現代と同じ事が続いているから、これは嘘だ。有り得ない話だと。

『我の聖教を破壊し。あなた達は私の言うことや、教えることを破るだけの教えですか？』

破るだけ、はっきり言ってアメリカの滅茶苦茶な理論。今もう、お金から社会制度から法律から崩壊寸前の所に来て、アメリカが分裂するのではないかとまで言われている。メディアは全く発表しない。何故これが分かるか？と言ったら、人間の心を観るのは金の動きを観れば分かったと前に私が言ったように、この金の動きを観た時に、「あーこれはもう崩壊寸前じゃないかな」と思った。

『前世の聖王が教皇に示すために定めた教えも破った。それが長期的な悪であれば、それは妄想社会になります。だから、この人達は私を見ると誹謗中傷する、真理を知らない妄想に迷って逆行して無益で大きな幕でこの教えを覆います。私の教えは全ての民の経道門で、他では無い教えです。』

今、アメリカの現状は若者たちがスーパーマーケットにやって来て、集団で盗みをしたり、警察は罪のない人を、鉄砲を持っていると誤解して五十七発も撃つとか。バイデン政権は大変な汚職をやっても司法、CIA に守られ FBI で守られ。ま、それが今のアメリカ。

『世の神道人は一人生の學を成すだけで、来世の死後の事を考えなく、只靈か神に成る事のみ知る。』

天国に行くことか、それか何々大臣に一生懸命お祈りすれば靈か神に成るということだけで、お釈迦様だけが本当に世の人を救う教えを最初に始めたわけです。

『生死を離れ出て成佛するを知らず。この教えは、聖王がこの聖教を設定されて世に遍く公布し、遠方の聖者達も同じくしました。だが学問に長けた妄想学者達は、妄想で此れを心と体の修行と解釈して、人々の才能にも妄想を治める事にも役立たず、ただ他教を破壊するのみ。』

セオリスト(理論家)、宗教学者の言葉、あれやこれやとただ文字遊びを。その為に様々なカルトが出来て、〇〇教、△△教、××教と。一般の若者は分からないから、「あ。そうかな」と。薬を一粒飲んで悟りを開きたいと。そういう考えになるわけです。もう、これはどうにもならない。

『悲しい事に此の人達は此の教えの根本も、聖王がこの聖教を設定した趣旨も知らず、私の解釈は如來の所説と違いが無いと、』

「この人達はお釈迦様の教えと一緒にだ！」と。

『知見するのが成佛道人と論ずる天真本性道を解釈出来ずに中傷します。』

全く理解出来ずに中傷しますと。あれがダメ、これがダメと。何回もお話しますが、
「佐々井秀嶺さんが〇〇と言った」と。二十年前の事を持ち上げて。その後、日本に来て、刀には魂があると。これをどう解釈するか？六祖大師の後に偉大な臨済義玄（りんざい ぎげん - 867 年）という臨済禅の大師様が「仏を見れば殺しなさい」と。皆、びっくりしてしまっ。これは仏法か？と。こんな恐ろしい話と。本当に仏を見る人間が居るのか？と。見える人間が居るのか？居ったら殺してみろって。絶対に見えないから。会えないです。という仏を殺すという最悪の事態をあんたやれるのか？と。あれやこれやと言うな。ただ座りなさいと。

その後が綿々と続いて、台湾の偉大な雲星大師の仏光山（仏牙齒）大寺院。もの凄いですよ。真面目にやっている。結局、雲星大師は学校を出ていないのです。それでもあれだけの事を教えるわけです。

『成佛在法界宮は無く、又佛居十方淨土も無く、惡業の人が居る地獄も無く、皆な是は佛教者の妄語と知見したと論ずる人は、是の理を知らず、甚はだしい愚人で、人々にこのお経を隠蔽します。釋中經典惡魔は四種あり、一に文字博學の惡魔、』

今はいっぱい居ますね。もう、ありとあらゆる、ミスインフォメーション。滅茶苦茶な報道。お釈迦様は2500年前にこれと言っているわけですよ。この凄さ。今、パナマ天文台が100年前に出来て、「うわー！」銀河が見えてなんだかんだと言って。その天文学、私の同級生、弘前高校の天才で日本の国立天文台の教授で、一番頭の良い人間がそれを追跡したら、今、無いの。無いんですよ。そういう人達もそうなるのに。

この仏教の經典をあれだこれだと。これは、本当に、私はなんと解釈したら良いのか。

『二に馬鹿な要約文章の惡魔、三に占い師の惡魔、四に難行苦行の惡魔等です。文字博學見魔とは、著文な沙門（僧）が我の説く諸大乘經の隅々まで文句を分別し、作り解えて、作り伝える講釋での文字、章句、義理などを昭にするだけで、自稱に依る大智多聞強記一切經義通達無暗（総ての佛の説が判る）と論ずるは、其の經の真實道理を知らず、自己心に依る諸經言者、諸言者、自己の心理説、非文字義（無意味文章）の侈學で多才で自画自賛で我の教えを滅して深く邪道に進み入り、惡魔の伴侶に成り、この説言が佛語であると察意解理するのは外惡魔です。』

私も過去の人生で、一時はある国の国師になりました。王様に教える先生になって、經典もよく読んで、次の人生は悲惨な下層階級に生まれました。そして、その時にアジタブッダに成る修行していた素晴らしい聖者。その人に私がお供えしたわけです。貧しいながら、私の食べ物を供養したわけです。そういう事で、ここまで来たのかなと。私は思っています。

『悲しや此の人は諸佛出世說法教化本意を知らず。開悟佛道の知見も知らずに、滅凡業修行もせず修行を成して、神聖の業と不死行も成して精靈を育ててと、大變な多聞多才で口長けて如來出世の説法をしても何の益も無し、是が愚人です。』

私もカナダで7年くらい、ウクライナ、ロシアの人達に仏法を説法しましたが、幾ら教えても仁徳、仁徳ね。仁徳天皇の仁徳。慈悲と波羅蜜＝メッタ・パラミが分からないわけ。それで、口は凄い。ダーッと理論で。あきれ果てるぐらい凄いのですよ。全員じゃないですよ。他の人は黙って。その中でもよい人は沢山居て、今でも仏教やっています。これが愚人です、本当に居るわけです。こういう人達が。

【真實を追及して、文面に依らずに心性を觀禪修行が佛道者です。】

ヴィパッサナー。真實をしっかりと觀ると。觀自在菩薩行深、この事です。サンカラ(心の仕組み)をよく觀てくださいと。

『還見真實。不立文字。知見心性。作佛道人。』

知見心性＝仏性のこと。作佛道人＝この人が仏に成る道を行く人だと。

『誹謗中傷を大いにするのが惡魔の徒で、此の經道を何をおいても大遮断するのが邪人識で三世の諸佛でも難治です。人々は菩薩も一佛も無く、亦た、一菩薩が只の文字で解釈と多聞で、覺心性と修覺道の悟り無くして、佛道を成して成佛するは、是が愚人で我弟子でも無く惡魔徒である。何の為に經を要約して馬鹿な惡魔で無智な沙門が、我が説の諸教經中の一要文を示して、深く其の理を表して、多くの私の教えを捨て、是が甚深の法門であるとは、真實でも重要な道でも無い、』

カシャパ尊者にお釈迦様が蓮の華を持って、大梵天王が捧げたこの世の物とは思えない素晴らしい華で。ただの華では無いわけです。それを日本では、お釈迦様が華を持って、カシャパ尊者が笑ったと。それでお前が後継ぎだと。その本意がこの經にちゃんと書いてある。

ところが、偉いお坊さん達は、その一句だけを持って、私も分からない。もちろんこのお坊さんも分からない。何故かと言ったら、そのお坊さんがそう言ったのなら、このお經を解説して教えてくれるはず。

つまり、お釈迦様の真似をして、あれはあーだこーだと言っているだけ。説明もしない。ただ一句だけを示して。「全て、空、空、空」だとか。「全て、無し、無し、無し」とか。そういう事ばかり言っています。

『この様にあれこれ解釈して一切の經を廢捨して、自己が日ましに増信し、自妄して時が立つに連れて、諸佛の廣道を増厭し強烈な個性の執著で次第に入暗に成り、智と覺を捨てる極愚に成り終る人です。諸佛の教えを破壊する邪惡また、諸大菩薩を破壊する此の愚さは此の經を不聞不入で瞋邪を作り、』

つまり、すごく悪く言うわけです。不惡口。惡口を言うなど。

『中傷する人で道を知らずに、私の法經を見てわざと壊す。知見道人は是の迷人の解

説と要法を妄想であると覺解します。諸佛は是を知見道と見なす。大博学でも如何に愚人の様な解釈では無益、天体天文学者が素晴らしく宇宙を解示しても、何の益が人の生活に有るのでしょうか。知見を捨てて惡道に入る。【但捨知見。入惡道。】』

つまり、自分の心をしっかりと観る(ヴィパッサナー)。

『是の啓発學問が、私の大道を覆い、悲しい事に此の人は諸佛修行成事を知りません。一切諸菩薩者は生まれる毎に叡智を増して、世毎に理解を増し、久遠の時より知見の恩恵を受けて、何時も覺醒しています。』

知見＝法隨觀の事。この事は弘法大師様が十住心論の菩薩のところで解説しています。

『阿難よ、諸佛は誠に是の愚人を悲しむ事を知りなさい。是の愚人は六通(神足通、天眼通、天耳通、他心通、宿命通、漏盡通)を得る事で、』

ヴィパッサナーをやってニミッタを持てば、天耳通があるかないか先生が見ます。他心通＝人の心が良く分かると。宿命通＝自分の過去の生まれ変わりを観る。又、未来を観ると。漏盡通＝全てが良く分かる。

『禪定の事で、天魔に化かされて來てるので魔の一念歸信の信仰心の愚人を治すのは誠に難しいことです。』

つまり、天魔に化かされて「拝めば、必ずや全て成仏する」と。「全て良い事になる」と。これは魔の教えです。

『三界の諸仏菩薩も、何も無い、また、一文だけの意味を持つ菩薩も 理不尽で重要な句文を保持しているとの修行方法も不明で、知恵を愚かにして無機質で仏になれるは、そんな馬鹿は我の弟子じゃない。これが惡魔です。』

無機質＝何も感じないという事。つまり、阿羅漢でも誰でも、そういう聖者たちは、人が苦勞して非常に苦しい時は。涙を流して助けます。

『惡魔に出会い易いのは何故か、それは力の無い禪定で 私の教えでは無いからです。無知で根性がない人々を變えることに、過去の仏に助けを求めて止める事も出来ません。或いは一仏に帰れと 一仏の詩を保持して、』

一仏の詩を保持して＝「一切唯心造」とか「一中一切、一切一中」というような言葉遊び。普通の人には分かるわけがない。體驗して初めて分かる事です。

『難行に依らず滅罪解毒それを信じさせ教えるのは便利で楽です。』

チベット仏教で「オン・マニ・バメ・ウン」と言いますけども、それはチベットの人は心から仏を信じて、非常に苦しい難行での仏に依って明るく生きていました。

今の世界の魔は国を分断して(Divided Control, Roman Empire の手法)し、それを支配すると。朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク、アフガニスタン、シリア、リビア、ウクライナ。次から次へと攻め入って。誹謗な大宣伝をして世界の人を化かし(WHO と医療産業界)てしまったけど、今は大変換期で。ま、そういう状況です。だから、これほど詳しくお釈迦様は未来を見ているわけです。

『破戒や下根の悪い僧には都合がいい道で、聖人の正しい道を開拓するのにうんざりで、船での彼岸を渡るのを見て歓喜して、諸仏の戒律と智慧を捨て住む事は常に便利な法門です。諸仏はこの様な法門を止める事も知らず。』

「これを唱えれば天国間違いない！」と。「教会に来れば全ての罪が消える！」と。「全てキリスト様が罪を消してくれて、一切の罪は払える！」と。それは無いわけ(笑)。でも、信じる者は救われると、嘘を信じる。

『この様な手法で 善悪の道も都合がいい様に善悪を決めて、最高法規とし、また無軌道で悪い考えをする。すべての道士を獲得するために、最も素晴らしい方法だと、馬鹿を雇って 彼の馬鹿の為に講義や会議を設定し、』

世界ナントカ平和会議、世界〇〇人道会とか。今、WHO(世界保健機関)が「また次のコロナが出る」と言っても、最早カナダの人は誰も信じていない。アメリカの人も信じていない。「また、毒撒くのか。」と受け取っていますね。

『これが最善の方法で 他の法門はすべてが難しく、この方法だけで 皆な仏になると大いに宣伝します。普通の人々は下根に依り難行道で 何百万人もの人々の中で 一人でも 成仏する事が無い教会で、』

つまり、一つの経文だけで、それを唱えて、それだけやれば全て大丈夫と。そういう事はないと。

『一切の悪魔に依って魅惑的な加勢と便利を得て黄泉(霊界)の助けて慢心は日に日に大きく成り、毎日その邪悪な法を広め、成長させます。』

本当に居るのです。霊界から出て来て、人に取り憑いて、この人達が歌を歌ったり、何かしたら、身体が治るとか。そういう手法で。現在でも居ます。非常に世界的に有名で、日本でも知られている方ですけど、この現場に招待されて行ってみたら、なんと、普通の人が見たら普通の人間。だけど、私が見たら、魔が空中に太鼓をクルクルクルっと回して魔が座っているわけですよ。歌も上手で人が聞き惚れると。そういう所で見たら、背景が薄暗い幽霊の世界なのです。これは本当の話ですよ。魔がウヨウヨしている。

そういう人は日本にも居るのだろうけど、力がないから有名じゃないけど。この人は世界的に有名で。人々は莫大な金を使ってそこに行くみたい。本当にこの世は不思議。

『すべての愚か者は騙され悪事をして善行を怠り、帰依してとても幸運と思います。』

私は見ました。いっぱい見ました。全てイカサマで。

『一切の愚か者は好き嫌いがあり悪行を好み、善行を怠る。』

悪い事を何しても神様が助けてくださるから OK！と。良い事するには自分の懐からお金出すか、時間を取られるから。また毎日座禅。私、嫌いだったんですよ。でも止められなくて。逆に今は楽しくなっています。

『一切の賢者、仏は、此の悪人は人間でも 仏教徒でも無く、今の罪惡事を続けて惡趣に浸り生きて、輪廻転生で終わりなく惡果報受け続けて成仏道の大道より断たれます。此の為に耐え忍ぶを怠ります。』

足が痛い。何が痛いって、私も随分「こんな足の痛い事なんではなきゃいけないのか？」と、思っていて。お母さんに「お前、座れ！」と。言われて「はい、座ります」と。ずーっと続けて、今はこれほど楽しい事はないと。座禅が出来ない日があれば「あー今日は出来ない。嫌だなあ」と。そういう風になります。

『真面目に戒、定、慧、修、波羅蜜、忍難、忍苦の聖學の教で罪を恐れて悪行を捨て聖道を歩み、然るにこの道が大平安で在り、賢者聖者に頼らずに末永く悪行より離れて直に成仏を得ます。』

お釈迦様のご子息でラーフラは十歳でお釈迦様から「お前は王国を継ぐのか？どうするのか？」と。「王様に成ると言っていたが、これは全て夢で何もならないから、私の僧院に入って勉強しなさい。」と。十歳の時に出家して僧院に入行って、お釈迦様のお父さんがもの凄く怒り狂って「もう、これでお終いだ！」となったんでしょうね。

そのお寺の中では、ヤキモチで非常に虐められるわけです。便所の中で寝て何しても、一言もお釈迦様に言わずに、ずーっと行を続けて、五十歳の時に阿羅漢になったわけです。という、つまり、ヤキモチする人間にやられるわけです。

ラーフラは生きながら天界のお母さんに会いに行ったのです。このお母さんも阿羅漢になったみたいで。

「大平安で在り」これはカシナ瞑想法の第八禪定をやれば、ここに到達します。

『大なる喜びを使い 誰にも安易な教えで、諸佛正法を滅ぼして私の法を廢止して王、法、慈悲、正義等が滅びます。諸仏の法も廢止し仏法が消えます。』

アフガニスタンのカブールに行ってね「何故大仏を破壊して、このような事をするのか？」と。「君達のご先祖様はクシャン大王国で、中国に大乘仏教を伝え、偉大なアレキサンダー大王も仏に帰依したでしょう。何故あなた達はこういう事になるのか？国が破壊されて・・・」と。永遠と説法して。

そうしたらトルコの人がある話を聞いて、「ぜひトルコにも来てこの話をしてください」と。トルコというのは「中国から来た人々」という事でトルコという名前があります。この方は今のシンジャン(ウイグル自治区)、中国の政府から痛め付けられていると。



ところが、NY のツインタワーを崩壊させた一派、その人達が中国のシンジャン(新疆ウイグル族)の一派で、アメリカの人がそれを捕まえて、アメリカの CIA は全部知っているけども、ツインタワーをわざとやらせて。そして 13 人の仲間たちを、トンガ王国に 13 億円の刑務所を作って、そこで、どういう手法でやったか。アフガニスタンを攻める道義を作ったけど、全て崩壊しました。(US media は朝から晩まで陰謀説宣伝しましたが、今は本当であることがはんめいしました。)

という事は一般の人は全然分からないけど、私は良くアメリカの深い情報を発表している誰でも閲覧出来る情報を見えています。あなた達も見られるけど英語の問題があって見られないけど。

それで、この巨大な刑務所を作ったのか知らないけど、いろんな情報を教えるのでしょね。それでとうとうロシアが怒ってしまって、サターンと言う一発でフランス全土が崩壊するという原爆二発で大津波を起こしました。アメリカは何も言わない。なーんにも言わない。化かされたのはトンガ王国で、騙されたわけです。

『道理を知らない故に罪と過ちに親しみ、迷いと妄想に酔って悪魔と欺きを楽しみ父母を遠ざけて、王と大臣も聖者も賢者らを遠ざけ、天の定めを避けて運命を覷ず。これは将に自己の聖道を然りと壊滅させる邪悪な僧は、このお経を知る知見道人を、甚だ大悪で修行人を誹謗中傷して成仏の直路を知らずと、また大いに迷い惑わされて修行』

道に留まるのは甚だ難しく、知見道は難解難入で濁惡世の中で是ほどの愚か者は居ない、千萬億人の中でもこれほどに迷いをするものは居ないと邪惡な言葉で誹謗を世間に宣伝して、大いに知見道人を遮断します。悲しいかな此の人は諸仏の超越なる智慧での衆生済度の方が有るのを知らない。諸仏の方便で先の教えに導き、この因縁で信心を起して佛へ近付く事が出来て、徐々にこの恵みで一切のを心に植え付けて行き、仏道に入らせ悟りを開かせて佛知見道で成仏を得ます。阿難よ、よく知なさい。三宝の帰依者は此の為に旅の中で知見の宝の筏船を得ます。』

私は真理を探す三年の旅の中で、カンボジアで知見の宝の筏船を知りました。それはパオ・セヤドーの僧院です。この僧院で宝船を見て得ました。

『此の愚かな人は宝の筏船を捕まえる事を知らない。誠に悲しいことには佛知見道の名を隠し三宝道の帰依をせずに、念仏、念法、念僧が真の諸仏の説法と愚かな僧の心の念は、邪念の為に三宝法の念も邪法になります。此の邪法での修行のために惡魔道に落ち込み、自己の惡魔道に依り墮魔に成り自他共に仏法を破壊する為に三宝の帰依を破壊して、地獄に落ちた惡魔惡邪類の中で最惡の無間地獄の大火坑に落ち込み無量無邊数の大劫』(大劫(マハカルパ)の算出は、80中劫が1大劫なので、268 億 7680 万年。)

の間無量の苦を受けて、佛種が永絶します。此の愚人を治すのは三世諸佛・一切菩薩でも誠に難しい事です。

私の友人で悟りを得て、兜率天に転生する僧が、大火坑に落込んで、出られたのは Kashapa Buddha【Gautama Buddha(釈尊)の前の佛】にダーナ(布施)をしたからと言っていました。その代わり、私とミャンマーで出会った時は、「六世代一切悪い事をしなかった。」と言っていました。その後、もう一回生まれて兜率天に転生すると言っていました。これはお地藏様のお力だと私は思います。

『一佛また一菩薩で、此のお經の知見道に依らずに仏に成る道は無いのです。念一如來、念一經句、念一菩薩、の一修行の行での成佛道とは愚で、我の弟子で無く惡魔です。阿難(Ananda:Pali 語)が、世尊如何にして此の愚人が惡魔法の惡魔より離れて、佛の信心帰依に戻れるのですか。阿難よ、此の愚人の慢心を止めるには、佛への廻向心と自己の愚行と惡行を地獄に落ちて三塗火坑の中で、諸仏有っての大慈悲と、思う事の方便によって、我の説く念三宝道の修行が易くして、愚人が三塗から永離出来ます。是の尚慶に依って、我の往淨土者に成ります。』

阿弥陀の淨土。兜率天の淨土。

『誠に不思議な我の法方便で、これに勝る他の道行はない、是の思念、或いは念佛寶、或いは法佛寶、或いは念僧寶と其の念寶に一心に專念して、他の事を思い求めず。阿難よ、この様にして愚人の慢心を止めて、自己の愚人で惡人である事を思いつつ、只諸仏の大慈悲に回向する方便をもって、我の説く行念三寶道が容易になります。』

つまり、南無阿弥陀仏、南無観世音菩薩、南無地藏菩薩とかそういう事です。心から自分を見つめて、懺悔していけば、必ずや勝道の大道に入っていきます。

『私は愚人！是が更に宜しい、誠に不思議で他人と関わらない勝道で、自己の劣根の理由無しでの勝道です。帰依如来方便の道において、自他共に無是無非で他の道を塞がずに、ただ自身の心の垢を払って念誦に励めば、悪魔衆を退散させます。この三宝での』

三宝＝仏法僧の事ね。いつも唱える、ナモー タッサー バガワトー アラハトー サンマーサンブッダッサ、ブッダン サラナン ガッチャーミー、ダンマン サラナン ガッチャーミー、サンガン サラナン ガッチャーミー。この仏法僧を心から唱えるだけでも大変な栄光を受けます。

『自他共に無罪故に、我の教えが入るので三法を良く念ずる事です。自分が他人より勝は慢心を増上させて、魔行を作り佛行より離れ、諸仏が真実の知見道で自己が他人より勝は魔道です。何故に此の佛の知見者が佛耳を得るかは、自勝他劣生慢心を作らないからです。どんな状況でも佛の方便劣行修は、自分が劣る為に他勝道の悪魔の難行苦行より勝ります。』

私は良く、昔から「私は小学校ビリだった。」という事をいつも自分に言い聞かせる事によって上手く行ったような気がしますね。全くこのお経の通りです。

『在る沙門が我法で極悪人、及極愚人、亦極邪人、亦諸闍提(仏法を誹謗中傷)、生盲生聾に諸佛神力と諸菩薩力が及ぶこの佛方便での一絶妙不思議術です。神呪をもって一切の罪人が解脱を得る呪術法が是で、自然に十種の功德が出来ます。その十徳とは、一に凡夫轉成聖仙、二に罪惡轉成善德、三に闍授轉成解脱、四に流轉轉成往生、五に魔障轉成賢業。六に病惱轉成治安。七に中天轉成長壽。八に天災轉成神福。九に怨敵轉成恩伴。十に兵亂轉成靜平其餘尚有無量神驗と宣伝する呪術者が難行苦行をもって、神々しい現象を見せて、邪念上根愚の人や利欲者の世間を歸依さし、あるいは樂驗者が驗術の故に入山林で木を食して種種の難行で心を清めて大神驗を得て世間を驚かせる事で、是の法が諸佛法の中で最上最勝と諸人民を化して 邪道に引き入れます。』

二、に罪惡轉成善德とは悪い事から変えて、アングリマーラの話。アングリマーラが阿羅漢に成ったと。

八、に天災轉成神福。私の家が洪水にあって、保険金で思わぬ沢山のお金が入って、そのお金で湖の側にお寺を作り、自分の家も直して。

九、に怨敵轉成恩伴。怨敵が自分の友達になって何時でも良い事をしてくれると。

十、に兵亂轉成靜平其餘尚有無量神驗。天乱、国が荒れて、もう何も良い事が無い時に、無量の神々が来てくれると。

ま、こういう事が起きる。十種の事が出来ると。

「呪術者が難行苦行をもって、神々しい現象を見せて、・・・」こういう苦行をお釈迦様の時にしたとお話をしましたね。この人は実際に居て、苦行をして、そういう奇跡を見せて、王族の一人である善星比丘がお釈迦様に「こういう素晴らしい人が居る」と。「魂も無い。来世も無い」そういう事を言って、お釈迦様の目の前で無間地獄に入って行きました。

お釈迦様が苦行者に「七日、一週間で死んじゃうよ」と。だから、「この人は阿羅漢でもないし、悟りを得ていない」と。そうしたら、実際に死んでしまっ。それを見たお釈迦様が、その死後を見てみたら、やっぱり餓鬼になっていた。物が食べられない。うずくまっていたのを見た。

『如來の方便ではなく、是は樂一切の奇怪妄想で邪見に深く沈み、』

よく西洋では、「キリスト様を拝めば全ての罪が消えて楽になるから来なさい。それに沢山お金を積みば全ての罪が消えるからどんどん寄付してください」と。これがそう。「もうあなた達に一切の罪はない。何をしても良い」と。そんな事を言っている。

『悪魔道に落ちての先は三塗火坑です。自分が奇怪を成して邪惡徒が正道を失い、諸佛大聖道ですと共に奇怪を成し、無法を正道とする誠に悲しい事である。阿難よ、是は諸佛如來の方便で神驗法者の為の物である。第一に欲望の罪人を救う為に、解脱門に入れて能く救います。是は諸佛が初に五功(智藝性功、智性功、仁勇性功、智勇性功、大覺性功)の真実を設けて、』

日本、世界では性＝SEXと誤解しているけれど、根性の性である。だから、私も徳性という事で。性の事とは全く関係ない。智慧の根本。慈悲と力の根本という事。現代語はまさに頭が狂った事ばかりやって。

『第二に慈悲心の故に現世が天下平安で萬民が安に生きるを欲する故。その後に五功に依り實際の体験で、是は呪の力での自分の功と愚人との比較で、神驗種種奇怪は無益な名譽で、本意の成佛を忘失する体験の瀧水が逆流して山嶽が動き、呪縛鬼神、呪水為湯、これ等は益で、實の無い得脱です。』

良い事一つも無い。と。

『この様な修行僧は國水を逆流して損害を人々に与える鬼呪の術者は、是を益で佛事の術とする。』

「これをやれば仏に成る。奇跡がいっぱい起きる」と。だからパオでは、パオ・セヤド一は、神通の力を得る事は勧めなかった。又、教えない。只、これをやれば得るという事だけを教えて。「止めなさい」という事。

『是の僧は邪驗の惡人である。このお経を読むことが知見道人で無功無徳な事をしま

せん。しかしながら馬鹿な道人は、我の功德を知らずに無駄な修行の下劣な浅はかな道で、諸佛の眞實正法を遮断します。是が愚人の功德です。誠に三世諸佛、一切菩薩にとって誠に難治ことで、佛、菩薩、無くしての知見成佛正道の己の修行は、無益で己の成佛道で佛道成るは、愚人で我の弟子では無く悪魔の仲間である。如何にして、悪魔が知見道に障害を造り道人を逸らすかは、十種類在り、一に禪坐不得迷悪魔。二に辨達不悟迷悪魔、三に凡聖不別見悪魔、四に慮難不發見悪魔、五に慮易差路迷悪魔、六に知見不修見悪魔。七に能修不見迷悪魔、八に見空不中迷悪魔、九に見滅不實迷悪魔、十に心教不同見悪魔などの無量の悪魔が見ています。』

一に禪坐不得迷悪魔、坐禅をさせない。
二に辨達不悟迷悪魔、言葉で色々言う。
三に凡聖不別見悪魔、聖者も凡人も無し。皆一緒。
四に慮難不發見悪魔、災難の発生を見せない。
五に慮易差路迷悪魔、よく考えないと。
六に知見不修見悪魔、一番大切な事は八正道の中で知見。見る事であるよと。
七に能修不見迷悪魔、よく修行が出来ない。
八に見空不中迷悪魔、空が見えない。
九に見滅不實迷悪魔、本当の事かどうか見る事が出来ない。
十に心教不同見悪魔、心の教えが色々あると。心の教えは一つ。

『學士の觀察中に禪坐不得迷悪魔に依って落とされない為には、知見に心に向けて一乗道人に成る工夫を凝らして修行禪定を、朝から晩に至るか、夕より曉に至る時間で靜に心を用いる事を、日久年久続けると段々と了見無の物心寂然空の無想無念の此の空を見ます。』

確かにそう。
つまり、「一乗禪の会」この事。

『是の為に佛性道に入り、我禪中に佛知見を得る。更に顧みなければ、諸佛の知見道者に成らず。是の心が聖で智であり、是が覺で理です。ただ空寂體(毘盧遮那身)のみ。是だけでは眞実で無いので、そのままにして久しく修行を続けて心が定まる習練で定中靜を得る。未だ眞佛性で無いので、時靜が起らず。此の為に定の中で心靜空淨が起る為に定の時に心が散乱します。』

その時に、「あれ？私はおかしいのかな？ずっと修行をしているのに心がフラフラする」と。こういう事になると。

『生活の中での定時、起時に心の差が有り、又迷いで心の散乱を知ら無いので、眞の知見を得ずにただ心の散乱に依り、禪なお修未練の為に空定の修行は入空に益して【絶空了見】。本当の佛知見道の不得の學者は是を知りなさい。』

そういう事があっても、迷わずに只々座って頂戴と。

『此の悪魔に近付く事なかれ。魔入者は誤りで經典を數劫の学習でも知見を得ず。此の悪魔を恐れて如何に博学でも悪魔に迷わされて悟を得ずに、趣味の知識を求める。』

あれやこれやいろんな学問があつて、そういう事になると。

『一乗道人の維摩大士は、等住【謂即最初所繫縛心，其性麤動，未能令其等住遍住故。次即於此所緣境界，以相續方便，澄淨方便，挫令微細，遍攝令住；是が〔等住〕、瑜伽三十卷九頁より】の不思議解脱【五次元の不可思議な空間宇宙世界】を見て、』

維摩大士はこの宇宙が出来る時に残した補所という土の残りの材料で弥勒仏の為に兜率天で宮殿大地を作ったわけです。凄い方。

不思議解脱ということで、一粒のゴマの中に宇宙を入れる事が出来ると。ある素晴らしい中国の方が「私はこの茶碗に大宇宙を入れる事が出来る」と。これは有名な話。

維摩大師は在家の方で、お釈迦様ととても親しくて、この方が亡くなられた時、お釈迦様はとても悲しんだみたい。

【五次元の不可思議な空間宇宙世界】これが今の天文学者達には分からない。機械では見る事が出来ないから、大変なショックを受けている。いろんなモデルを作ってますけどね。

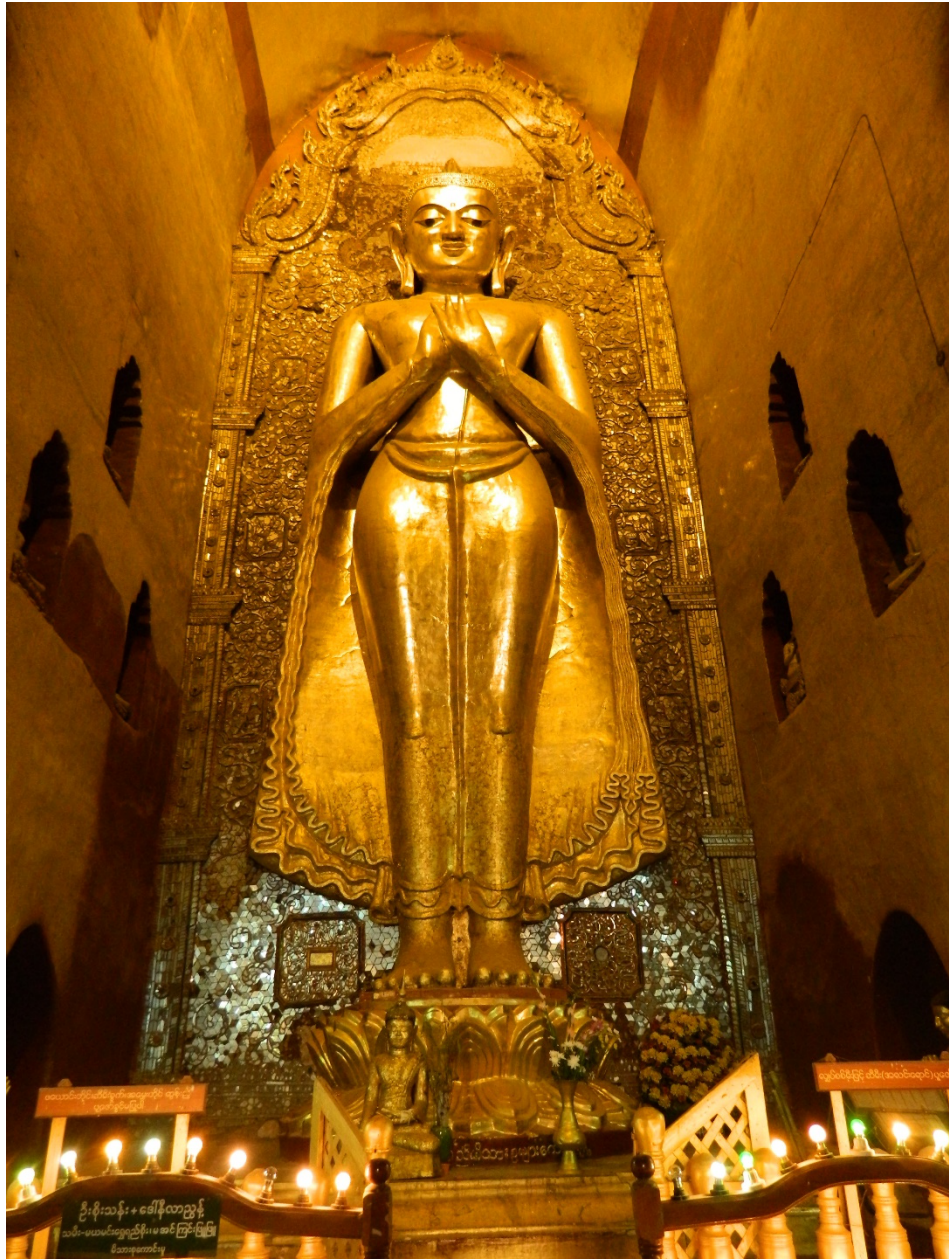
『機辨(学問的応用)が活發で、無礙自在、思知見性機辨妙、をもって專代辨達(専門的な博学)であります。』

まあ何でも出来ると。何でも良く物が絶妙に見えると。専門的な博学があるわけです。

『行住座臥で唯に機活を行い、久しく修行をして習練を終得し、自在を得る。我が得た諸佛知見辨自在と同じく、心での理屈では無い。理で諸佛知見道者を知る事は出来ません。是誠是雅、是靜是德、で有り辨達機德です。これは知見の一部で真実に至らない『是知見一端。而未真實』。』

実はね、この行住座臥というのは、いつも禪定に入っていると。禪で生活している。寝ても覚めても。阿羅漢はこういう風に生きているみたいです。

これは私の得た自在と一緒にだ。これは理屈ではないと。理論では出来ないと。これが辨達機德であり、これは知見の一部で真実に至らないと。



降魔品第六 ②

【天鬼領氣障魔十。一高智破戒報魔。二持戒輕智報魔。三修定著怪報魔。四智戒四見報魔。五依寶不法報魔。六妙解無報報魔。七智行慢心報魔。八有智無質報魔。九表學誑人報魔。十長辨樂輪報魔】。外道邪見障魔二。一歸氣斷滅見魔。二成神無果見魔。釋中邪解障魔四。一文字博學見魔。二肝文要約見魔。三易行倦厭見魔。四難行奇怪見魔。知見差路障魔十。一禪座不得迷魔。二辨達不悟迷魔。三凡聖不別見魔。四慮難不發迷魔。五慮易差別路魔。六知見不修迷魔。七能修不見迷魔。八見空不中迷魔。九見滅不實迷魔。十心教不同迷魔。

『天の鬼領の氣障(障氣で多暗、風氣で多聾)悪魔十とは。一高智破戒報悪魔、二持戒輕智報悪魔、三修定著怪報悪魔、四智戒四見(四見：一、執有二、執無三、亦有亦無 四、非有非無〔佛學次第統編〕より。)報悪魔、五依寶不法報悪魔、六妙解無報報悪魔、七智行慢心報悪魔、八有智無質報悪魔、九表學誑人報悪魔、十長辨樂輪報悪魔です。』

一高智破戒報悪魔、非常に高い知識を持った人を破壊するという事。
二持戒輕智報悪魔、戒律を軽くさせると。
三修定著怪報悪魔、修禪をおかしくさせること。
四智戒四見(四見：一、執有二、執無三、亦有亦無 四、非有非無〔佛學次第統編〕より。)報悪魔、
五依寶不法報悪魔、「仏法僧とかそんなものは無い」とさせるようにする悪魔。
六妙解無報報悪魔、一生懸命修行して分かった後も、何もご褒美が無いようにする悪魔。
七智行慢心報悪魔、智行を一生懸命して、「俺はこれが出来る！」というふうにさせる悪魔。
八有智無質報悪魔、幾ら勉強しても何にもならないようにさせる悪魔。
九表學誑人報悪魔、学問から行って、頭が基礎から狂ったように見られる悪魔。
十長辨樂輪報悪魔 口が達者で、何でもクルクルまわしてしまう悪魔。

『外道邪見障悪魔は二つ有り、一に歸氣斷滅見悪魔と二に成神無果見悪魔です。』

氣力を無くさせてダラダラさせる悪魔と何をしても上手く行かないという悪魔。

『釋中邪解障悪魔は四つ有り、一に文字博學見悪魔、二に肝文要約見悪魔、三に易行倦厭見悪魔、四に難行奇怪見魔です。』

一に文字博學見悪魔、文字で何でも分かる。分かったつもりさせる悪魔。
二に肝文要約見悪魔、簡単にこれはあれだこうだ。もう分かったと。人にもそうさせる。
三に易行倦厭見悪魔、これを拝めば、この御札を買えば何でも良くなると。

四に難行奇怪見魔、人に「あれだけ苦しい苦行、凄い事するなあ」というふうに見せる。

『知見差路障悪魔に十有り、一に禪座不得迷悪魔、二に辨達不悟迷悪魔、三に凡聖不別見悪魔、四に慮難不發迷悪魔、五に慮易差別路悪魔、六に知見不修迷悪魔、七に能修不見迷悪魔、八に見空不中迷悪魔、九に見滅不實迷悪魔、十に心教不同迷悪魔です。』

知見差路障悪魔というのは、こっちにしようか。あっちに行こうか。修行の方法を迷わせる悪魔。

- 一に禪座不得迷悪魔、座禅させない。
- 二に辨達不悟迷悪魔、よく悟れないようにする。
- 三に凡聖不別見悪魔、聖者も凡人も一緒だと。
- 四に慮難不發迷悪魔、これから悪い事が起こるのを見えないようにする。
- 五に慮易差別路悪魔、これは易しいとかこれはダメとかを見えないようにする。
- 六に知見不修迷悪魔、この知見の修行をさせないと。
- 七に能修不見迷悪魔、よく修行できないようにする悪魔。
- 八に見空不中迷悪魔、空が見えない。これは前にやったね。
- 九に見滅不實迷悪魔、本当の事かどうか見る事が出来ない。
- 十に心教不同迷悪魔 心の教えがいろいろあると。

はい。第七に入ります。



往生品第七

白佛言。世尊四十餘年所說經中。『常說應念應稱佛名。如藥師佛阿彌陀佛。以心相念。以相舌稱。得何功德』。佛言天王有四種義。一者親近大聖。二者願樂聖口道。三者加受聖助。四者因緣聖入。以如是義。說功德大。白佛言。『世尊復說常念觀世音菩薩。文殊師利菩薩。普賢。彌勒』。是亦云何。佛言天王說。念觀音此菩薩從耳根圓通。起大智慧。其智慧體。即大慈悲。其慈悲心。即大行願。是即一切諸佛道體。一切眾生如是行道。念文殊者得大智慧。念普賢者入大行願。念彌勒得者得大慈悲智。悲行者。佛道大綱。過去諸佛。現在諸佛。未來諸佛。東西南北上下諸佛。及其大法。『無一入悲智行。佛法無一如來非智行得成佛者。無一眾生非非悲智行當成佛者』。若說智悲行外有一成佛之法。是外道說。非七佛說。十方三世一切諸佛。一切菩薩。為智悲行。難行苦行。度自化他。已成佛道。當成佛道。無有一佛及一菩薩不自修行智悲行道。而依他佛他菩薩力得成佛道。若說有不自修行功。依他力。得成佛道者。是波旬說。非說。佛說。白佛言。世尊何故。修諸善功德及觀佛稱名。往生淨土。其故云何。佛言天王。初心菩薩。及下根士。大恐於此娑婆國。行六度萬行。及修開悟佛知見道。或有倦勞。或有退轉。以佛方便。淨土成就根力而還。此土欲令成滿萬善大行。而說此義。於如是類修行人中。有二種機。一者今生得利勝義。二者後生得利劣機。何為今生得利勝機。初心中有利根敏慧。開見經道。即解彼佛阿彌陀及我釋迦佛。建願示誨。勸往生者。是即諸佛善巧。所以不得止。說其真實。為令諸眾生修行普賢大道是也。不求往生。即向普賢大道而行。即成大根菩薩。或有菩薩為往生故。觀佛身時見己身了。是心是佛。悟是理時。頓知此土時全是淨土。不轉是身。即是佛身。應時知得。成就根力。不借往生。真行方善。或有菩薩。為往生故。修行念佛者。不可得具十大心念。如已前依彌勒菩薩問之所答。是十念者。一切菩薩修行本念。為念佛故。『常修十念。念念通徹於十念者。即得成就菩薩大行。不借往生。直行萬善。或有菩薩。為往生故。『修行三心』。無暴。無散。無亂。無垢。無邪。是得至誠心。於其心相。無偽。無欺。無焰。無妄。無疑。無貪。無瞋。是施是戒。是智是理。是慧入悲。是敬是讓。是義是理。【是觀音心。是即佛心】。得大深心。於其心相。無羸無動。無散無亂。無卒無暴。無暗無迷。是忍是定。是慧是覺。是見是辨。是明是審。是慎是慮。【是文殊心。入即佛心】。得發願心。於其心相。無厭無倦。無懈無休。無退無轉。無放無逸。是進是方。是願是力。是勇是猛。是活是發。是格是致。【是普賢心。是即佛心】。是三心者。菩薩真行。心心成就。即得大道。不借往生。直行萬善。或菩薩能知佛慮。能聞佛說。為往生故。修往生行。聞說唯稱佛名。修有福者。皆得胎生。或宮殿中。或蓮華中。經五百歲十二劫。不見佛身。不聞正法。若有開悟五大智者。即得化生阿彌陀佛大菩薩眾。圍繞住所寶座之上。即見如來。即聞正法。即發信心。速解五智。所謂佛智者。心佛眾生。圓通根本。普賢菩薩法界大智。不思入智者。菩薩所住。不思議解脫。□□菩薩大權方便自在大智不可

言智者。真空妙空。文殊菩薩般若大智無等無偏最上勝智者。諸佛知見。『觀音菩薩一乘大智。往生修行菩薩。欲得彼化生故。修行五智。阿彌陀佛以本願力。加被開悟。如是五智。即證諸佛無上大道不借往生』。直行萬善。如是四輩名為今生得利勝機。何為後生得利劣機。若有下根愚痴菩薩。雖見如是諸佛方便。不解不覺。不志菩薩大修行道。唯念著於彼佛國土快樂長壽。愚人是也。或有菩薩。唯稱名號。一向專念無量壽佛。一心不亂。唯入此道。不見他人是非好惡。不思他法勝劣高下。不對住他行。毀譽信難。不向他教遠近向背。唯恐自己罪咎邪惡。唯懺自己散亂羸動。唯責自己無道無法。唯愧自己不正不和。『修一心故。自然成善忘欲。亦忘邪見。及忘邪智。無罪無逆』。自然作成孝養慈悲柔和質直安樂之心。命終時至。遠離諸執諸著。即離生死。往生極樂下品蓮華胎生之中。無苦無惱。安樂歡喜。經多少劫時開蓮華。即見彼佛無上相好。即聞彼佛說一乘法。漸開聖悟。次得聖位。或有菩薩強欲強惡。常作殺生。深著肉味。偷盜他財。大求富福衣服殿屋。美色亂行。憂悲短命。強求長壽。欲無頂絕。不知世理。暗心迷倒。聖人下教。賢人示化。尚不云何如是愚人。隨於其人。其性其意。聞說極樂世界妙事百寶莊嚴。寶珠充滿。百味飲食。甘露湧勃遊行自在。無不隨意。菩薩眾生。壽命無量無數沙劫。神仙不及。人相好妙美。絕口天女。歡樂無盡。無晝夜春秋不來。無寒無熱。如仙宮年。尚於彼宮。絕出無對。言語道斷。心行所滅。令諸愚人欲所欲達願樂往生。漸漸增進佛境界。樂改惡行。善合於聖道。遠離邪毒。現世安樂。命終如願。即往極樂。蓮華胎生。時至開華。見淨土相。絕出人間仙宮天堂。所願滿足。修菩薩行。終至菩提。如是二輩。名為後生得劣機。

『天王の質問で、世尊は四十餘年所說經の中で、何時も良く念じて佛名を唱えなさいと言われます。如藥師・阿彌陀佛を心に相念相して、舌で稱える事で何の功德を得るのですか。天王よ、それには有四種義有ります。一に親近大聖、二に願樂聖口道、三に加受聖助、四に因緣聖入の是の義での大功德です。それでは、世尊が何度も繰り返し説かれる『常念觀世音菩薩。文殊師利菩薩。普賢菩薩。彌勒菩薩』何故なのですか。それは、觀音菩薩の念昌で耳根に圓通して大智慧を起し其の智慧體が、大慈悲で有り慈悲心なので、大行の願が一切諸佛道體なので一切衆生の修行道で、念文殊者での大智慧も、念普賢者の大行願いも、念彌勒得者の大慈悲智も慈悲行者であり、佛道の根本で、過去諸佛も現在諸佛も未來諸佛も東西南北上下諸佛も其の大法に依るからです。悲智行無くして仏法は無く、一切の如来も此の智行で成佛者に成り得ます。』

身口意の真髓がここにあります。身体、口、意識、数珠を持って口で唱えて、身口意、三密が一体になると。

『「無一入悲智行。佛法無一如來非智行得成佛者。無一眾生非非悲智行當成佛者。」この説の智悲行の外での成佛の法を説くのは外道の説く所で、七佛の説では無く十方三世一切諸佛も一切菩薩も智悲行での難行苦行で自己が渡り他を

も渡します。この成佛道が本当の成佛道です。自修行無くしての智悲行道では、一佛及び一菩薩も存在しません。

佛力菩薩力に依り成佛得る道を説く、不自修行の功の他力での成佛を得る道者説は是は波旬（大悪魔）説で、佛の説では無い。それでは、世尊何故に修諸善功德及觀佛稱名が往生淨土になるのですか。天王よ、初心菩薩及下根の士は大変に恐しい此の娑婆國での六度（波羅蜜）の萬行及び修開悟佛知見道の修行は、倦勞或いは退轉を防ぐ為の佛方便で淨土成就根力をもって還此土の欲令を成す滿萬善大行の為である。』

つまり、名唱してゆくという事が、修行が倦怠して、「もう止めようかな」というのを防ぐ為のものであると。

『是の類の修行人の中で、二種類有り、一は今生得利勝義、二は後生得利劣機が有ります。何故に今生で利勝を得るかは、初心中に敏慧が有る利根の為に開見經道で、彼の佛阿彌陀及び我の釋迦佛の建願示誨を即解し、往生を人に勧める者は、諸佛の善巧が間違いない真実の説と、為に諸衆生修行の普賢大道で有ると、往生を求めずに即向に普賢大道を行い、即ぐに大根の菩薩に成り、或いは菩薩の為に往生が有ります。佛身が己の身と見る時に觀が出来て、是の心が佛の悟での物事をして、此の土景全部が淨土であると確りと知ります。』

という事は、本当に、毘盧遮那仏がこの身体であると前に説明したけれど、そういう風に感じた時に、私達が生きているこの世界が全て淨土になってしまうわけです。心が淨土の心になってしまうから。というのは、本来、毘盧遮那仏には一切の障りは無い。その身体と合体したときに、心が、毘盧遮那仏の本源の身体が目覚めて、見るもの聞くもの何もかもが淨土。花を見ても「美しいなあ」と樂園になるけど。

では地獄はないのか？と。地獄はあります。今、戦争で25万(35万)の兵を亡くして、国が全部崩壊したウクライナ。その時、随分と私が説明した。2014年。戦争が起こる前に、「これから戦争が起こるから、ここから出るか、考え方を変えるか」と懇々と説明したけど、「大丈夫です」と。又、キエフはどうだった？と大学の教授の先生に聞いて見たら「もう、大混乱で(ウクライナには)帰らない」とその時から言っていたけどね。

で、ロシアの人にも言ったけど、同じ民族なのです。同じ人。朝鮮戦争みたいに分断、心が分断されてしまっ。憎しみの戦いほど醜いものはない。今は、ウクライナ兵が7人亡くなれば、ロシア兵は一人という統計がペンタゴンから出てしまっ。兵隊がもういない。アメリカが派兵しているけど、特殊部隊だけで。破滅寸前。もう、ウクライナ戦争は後一週間か二週間か。6月いっぱいには持たない。

その時に大変な事になるのは、日本の年金、全部アメリカに突っ込んであるわけですよ。つまり、日本の未来は全部アメリカに騙されて、お金を全部吸い上げられている。という事が仕方なしに発生していますけども。懇々と前から言っているけど。

名目上は国力が世界 NO3 だけれど、実際はとっくの昔に・・・中国がアメリカの数倍の力の経済力があるわけです。アメリカは戦争を起こして利潤をえるという手法でしか出来ないようになっている。その昔、日本の生き方は中立で独立独歩と言っていたけ

ど、仕方ないね。

(前から言ってた、Odessa が陥落したので Ukraine=USA,NATO も経済破綻、日本経済も最悪の事態に突入しました。)

2009年日本に来てからそう言っ。初めの頃、三十四善転心の所をわざと間違っ
て言ったわけです。名前を一つ変えていた。分かるかどうか見ていた。そうしたら、法
話が二回終わった頃、「先生、これは間違いじゃないですか？」と。「はい、そうですよ。」
と。私は凄く安心して。ちゃんと勉強しているんだなあ。と思っていたけど。そういう風
な手法も使うわけです。

本当に花を見てください。もう、これが浄土で、極楽の姿を見る事が出来ます。

『是の身が佛身と迷わずに知る時に根力が成就します。往生を惜しまずに真の
奉善行をし、或いは有る菩薩の為に往生するとの、修行念佛者は具十大心念不
可得です。この事は前の彌勒菩薩問の所で答えました。是の十念【念佛、念法、
念比丘僧、念天（弥勒菩薩）、念戒、念施、念處寂靜、念出入息、念身、念死】
者は一切菩薩修行の本念【慈悲心】で念佛の故に常に十念行をし、念々と通徹
する十念者は即得菩薩大行を成就し、不借往生を惜しまずに直行萬善して、或
いは菩薩の為に往生の故に修行三心【信・普賢心、智・文殊心、悲・觀音心】
無暴、無散、無亂、無垢、無邪、で誠心に成ります。』

普賢菩薩の信、つまり力強い信念が生まれます。「これが正しい」と。文殊菩薩の智
慧、それから觀音菩薩の心、この修行三心ですね。無暴、無散、無亂、無垢、無邪、
で誠の心になると。

『其の心相で無偽、無欺、無焰、無妄、無疑、無貪、無瞋による戒で智と理と
成り、是の慧（心理を知る力）で入悲して、是が敬、是が讓、是が義、是が理です。
是が觀音の心で佛心です。【是觀音心。是即佛心】』

この心で、騙しの無い、人を欺かない、悪い事をしない。これが觀音の心で佛心で
す。結局、誤魔化しとか騙しとか、ヤキモチで火をつける、妄想に浸る、あの人はこう言
ったこの人はこう言った。と成る事が無い。これが觀音様の心で隆起して。

『此の大深の心を得、其の心相で無羸無動、無散無亂、無卒無暴、無暗無迷、
是忍是定、是慧是覺、是見是辨、是明是審、是慎是慮が文殊心で即に佛心が入
ります。【是文殊心。入即佛心】』

文殊菩薩の心で、佛心が入ります。

此の發願心を得て、其の心相で無厭無倦、無懈無休、無退無轉、無放無逸、是
進是方、是願是力、是勇是猛、是活是發、是格是致が普賢の心が佛心です。【是
普賢心。是即佛心】

嫌だな、体が怠いなという事が無くなり、休まず直ぐに解決して、あちこち心が分散しないで、何でも好き勝手にする事が無くなり、願力、勇猛心、活発に何でもすると。これが普賢菩薩の心で、佛心です。

『是が三心者で菩薩の真行です、心を良く成就させて大道を得ます。往生をおしらずに直行萬善をして、菩薩は良く知佛の配慮を知り、良く佛説を聞く為の往生が 往生修行で、説くを聞き佛名を称えるのが有福者の修行で、皆な宮殿に胎生、或は蓮華に化生します。』

つまり、色々なお釈迦様のお話を読んで、よく聞き、佛名を称えるのが有福者の修行で、宮殿に胎生するか、或は蓮華に化生、阿弥陀の国に生まれます。

『御經を五百歳十二劫読んでも不見佛身、不聞正法ですが、浄土では五大智（大圓鏡智、平等性智、妙觀察智、成所作智、法界体性智）の開悟者は阿彌陀佛大菩薩衆に即に化生します。住む所の寶座の上で如來を拝して、正法聞き真に誠の信心で五智を速解して佛智者と成り、心佛衆生の圓通（法性）根本の普賢菩薩法界大智の思考での無い智を得る者と成り菩薩に住す。』

これは無の公案。無を通過したという。不思議解脱の五次元の世界です。大きくもなく小さくもなく、般若心經の諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不増不減の五次元の世界。

『不思議解脱法門（五次元世界）は菩薩が大權方便自在大智を言葉では不可の智者と成り、真空妙空の文殊菩薩般若大智無等無偏最上勝智者である事を諸佛は知見します。是が觀音菩薩一乘大智で』

一乘大智というのは、阿羅漢、白仏（ペチカブツダ）、菩薩。

『往生修行菩薩の欲する浄土で、化生して修行五智の阿彌陀佛の本願の力で開悟する所の五智で、證諸佛無上大道に往生に惜しまず『觀音菩薩一乘大智。往生修行菩薩。欲得彼化生故。修行五智。阿彌陀佛以本願力。加被開悟。如是五智。即證諸佛無上大道不借往生』に直行萬善して、四輩名に依って今生において勝機利を得ます。後生は劣機得利で下根の愚痴菩薩で諸佛方便を不解不覺して、菩薩大修行道に進まず、只に念佛して極樂浄土佛國土での快樂長壽修行は愚人である。或いは菩薩が一向專念で無量壽佛の稱名を一心不亂に此の道に入り他人の是非好惡を觀ず、他の法勝の優劣を思わず、他人の名誉棄損を指さず、他の教から背を向けて近依らずに、自己の邪惡の罪を咎め、自己の散亂轟動懺悔し、自己の無道無法を責めて、自己の不正と不和を恥じる事で、一心に修行して自己の本性が欲望を忘れて善行をして、そして邪見も邪智も忘れて罪を成さず、反逆せず。「修一心故。自然成善忘欲。亦忘邪見。及忘邪智。無罪無逆。」自然に孝養・慈悲・柔和・質直・安樂・の心を作成して命の終る時に諸執・諸著から遠く離れて、』

ある阿羅漢が死ぬときに、お釈迦様が「この衣は焼かないように」と。「七日経ってから焼いてください」と。何故かと言ったら、阿羅漢になった人が蚤になったわけ。何故、蚤になったのか？と言ったら、自分のこの素晴らしい衣がとても良いという心で、死ぬ時に蚤になったわけ。ただし、これを焼いてしまったら、蚤でも阿羅漢の位に上がっているから、大変な事になるから、焼くのを止めさせて、蚤が死ぬのを待って、七日経ってからこれを焼いたわけです。

『生死を離れ（修行中に六生前以上の自己の生と死を観る時にも生死を離れます。法随観禅の科目）極樂で下品蓮華の中に胎生し往生します。』

自分の生死を6回観て、未来の生死も観ると。という事をやります。これを宿命通と言います。これを観る事によって生死を離れます。法随観禅の一つの科目。

『無苦無惱の安樂歡喜での多少劫を時を経て、蓮華が開く時に 阿弥陀佛の無上相好を即見し、彼佛の説かれる一乘法を聴きます。』

皆さんはこの一乘法をやっているわけですよ。この世の中では滅多にこの一乘法をやる事は出来ないのです。

『少し少し悟りを開いて次の聖位を得て、菩薩の強欲強惡、常作殺生、深著肉味、偷盜他財、大求富福衣服殿屋、美色亂行、憂悲短命、強求長壽、欲無頂絕、不知世理、暗心迷倒らの心が聖人の教に依り賢人に成って、』

深著肉味＝肉の味ね。偷盜他財、大求富福衣服殿屋＝御殿のような所に住んで樂々と。美色亂行＝キャバレーのような所に行って遊ぶ。憂悲短命、強求長壽＝命が短く長生きしたいとか、欲無頂絕＝欲だらけ。不知世理＝何も世の中事を知らずに。暗心迷倒＝適当にデマとか言い放題。

こういう人でも賢人に成って。

『尚この様な愚人に落ちずにその悪気性と悪意志にも成らずに、極樂世界妙事百寶莊嚴で説法を聞きます。』

まあ、極樂世界は良いですよ。全てが浄化されて。そういう所で阿弥陀の説法を聞くと。

『其処では寶珠が充満して百味飲食の甘露が湧き上がり、気持ち良く遊行自在の菩薩衆生は壽命無量無數沙劫です。神仙も及ばない人相の好妙美の絶口天女達は、』

絶世の美女と言われる、世界の映画の大女優でも全く及ばないという。居るのですよ、本当に。居ります。

『歡樂が尽きることが無い晝夜で春秋の季節で、寒さ熱さが無い仙宮殿での時を過ごします。』

ここ(エクアドル)も暑さ寒さがありません。そういう素晴らしい宮殿で時を過ごします。

『絶対に間違っている言語道斷の心行を滅して、諸愚人の欲する欲達願樂往生を段々と佛境界に、増進させて惡行を改めて樂にして、善を以って聖道行に向かわせて、惡邪毒より遠離して、現世で安樂命終の願がかなえられ、極樂に行き蓮華胎生の時を経て開華し、淨土の世界を何所からもなく、人間仙宮の天堂を見て所願を満足して、菩薩修行して菩提に至る二つの輩です。是が後生得劣機です。この様に人に依って、二種類の利得があります。大利益の諸佛如來は他の佛土で往生をして、自己の愚痴無智、知らない道理、闇の心や解聖教義理の理解を忘れるを取り除いて、自分に勝ち抜いて他の劣る人に教える為に、愚かな仲間になって此劣行為に勝つ其の最上勝行で、正法の誹謗中傷を除いて如來本願を取り戻す為がその本心で、是が阿彌陀佛常説の「一乘」です。』

皆さんは、ここに居るわけです。

『常に一乘の心で一切衆生等の為に下方して、悟の一乘妙道で劣惡行を止めるのが其の本意で、常に心を守り固めて娑婆世界修行大道で、極樂住安修行を行はないのが本意で發弘願を得るのが一心の往生で、』

46年、未だに恩師印幻先生に勧められた發弘願が出来ない、愚鈍の私です。先生から「君は初弘願をしなさい」と。でも未だになかなか出来ないのです。

『愚人は此の修行が耐えられないので、やめる事がないように往生願を立て阿彌陀佛を心で念ずる娑婆安養の思いは一通平等で此界と他界隔たり無く、違いも無く阿彌陀佛を心で念ずるのも、淨土でも此処でも隔は無い、なぜなら一佛も衆佛、衆佛も一佛（一切一中、一中一切）で法身の一體の他に差も無し、』

一仏は全て、全ては一仏。だから私達も仏なのです。かといって修行しなければ分らない。仏であるけど、盲、聾、啞であるあるわけ。で、目を開き、耳で聞いて、ちゃんとと言えるように。

で、法身の一體の他に差も無し。何回も言っているように、私達もあなたも、毘盧遮那仏と全く違うわけではないわけです。大宇宙の…実はそうなのです。

これは聖書でも言っている。聖書の時間帯はあまりにも短くて、仏教から見るとおかしく見えるけれども。聖書で一番大切な事は「私達は神のイメージである」と。この事なのです。しかし、クリスチャンはこの奥義、深い所が分からない。「あ。そうです。私達はイメージです。仏教書とはあまりにも強烈な違いがあるから、違うのではないかと。ところが、摩訶不思議。一体なのです。

では、何故私達は(一体化)出来ないのか？と。修行して開いて開いて行けば、もう

合体して同じに。一つであり他、他であり一つ。
だから、毘盧遮那仏の、法身の一体に差も無し。

『人でも大君でも無我は同じく、』

誰も彼も、大君でも無我は同じ。アナッター＝無我。「私が無い」では無いのですよ。
無我＝アナッター(anatta)の事。全然違う事。

『而念ずる自分も念ずる他人も同じで心に差は無し、何所においても果満の如來地で有り、梵王の果報はなお清淨で天上天下に見える如來の地の果満も違いなし。』

梵天が見る淨土も私達の地も、実は同じだから。同じように見えますよという事。

『この時に阿難が、「世尊が己の前に言われた、光明遍照念佛衆生とは？」 阿難よ、此の光明の照（禪相・nimitta）に念我念他に差別なくその心を照らす衆生の觀佛三昧での三昧（Samadhi、定）で良く成見します。是の心が佛で法身を理解出来るので、一乗道を歩めます。法身の光明は常に十方を障りなくなく照らし、自己心と法身光明が合わさり自燈明に成ります。是が阿彌陀佛の因地本願で、此れを捨てずに取得しなさい。』

これが本当の阿彌陀。これが分かって阿彌陀様を唱えなさいと。これを捨てずに取得しなさい。と。

だからMさんが「アナパナサティはどうするのですか？」と。これは素晴らしい問。この事、この事。

「自己心と法身光明が合わさり自燈明に成ります」ところがね、日本の専門家は「自分を照らして、世間の人を助けなさい」と。そういう意味でもあるのだけれど、実際はこれほど違うわけですよ！

『「それでは、世尊。菩薩成就の觀（Vipassana）佛十念三心五智を如何にして成就し、その菩薩は永く此土に留まり、往生淨土を求め無いのですか？」 阿難よ、その菩薩は佛の居ない世界で如來を戀慕し、他方の淨土での生まれを欲し得て佛を拝見して聞法をし、法樂を受ける樂者でその法を成就する者で、即得往生を他方の淨土及び都率天で生れ、』

兜率天に生まれて、その奥殿に入る事は、難しい事ではないのです。

『この極樂者は即得の往生上品上生で、尊阿彌陀佛觀音勢至一切菩薩を拝見して一切佛を即遊見して正法・妙法華經・華嚴・般若一切の大乘を即聞します。』

これは凄い事。こういう事を仏から直接聞けるわけです。

『都率天者は四十九重摩尼寶殿に往生して、親我たる牟尼佛、**阿彌陀**(拘留孫：
梵：Krakucchanda、巴：Kakusandha)佛、**阿閼**(拘那含牟尼：梵：Kanakamuni、
巴：Koṇāgamana)・**寶生**(釈迦牟尼：梵：Śakyamuni、巴：Gautama)・**藥師**(迦叶：
梵：Kāśyapa、巴：Kassapa)佛等を直見拝して、供養教主を即見して、彌勒、觀音菩薩、
普賢菩薩、文殊、地藏、維摩詰及び虚空藏等の難見な菩薩及び不動威徳夜叉三世
難見明王を拝見供養し、又辨才吉祥、多聞王等の菩薩大天を拝見供養します。そし
て摩阿迦葉、舍利弗等、菩薩や聲聞を拝見して大乘の成佛法聞くとなり。』

説明します。カシャパ尊者様はヒマラヤに居ります。ヒマラヤの岩の中に住んでいます。
それを私は訪ねて行きましたけれど、会えなかった。「そんな！バカな！」と。「この地
球が減じるくらいの長寿で、そこに座れるのか？」と。異空時間があります。

で、「即見する」というのは、結局アバターですね。この宮殿、実際にあるけれどアバ
ター。絶妙な世界があります。その事だから、誤解しないように。ここでちゃんと会える
わけですよ。

いやー凄いね。ミロクブツダ＝アジタン菩薩が降りて来るわけだから。そうしたら、こ
の世界は、全く違う地球になってしまっ。全く苦が無い。修行が楽々と出来る状態に
なります。だから皆、全て悟りを得ると。嘘みたいな話なわけで、私達のこの馬鹿な頭
では考えられない事。

『それでは世尊、**兔率天**に入養し安往生土を得るのはとても難しいのでは？
阿難よ、**兔率天宮**には世界創生の取り残した土地が有り、一切凡夫が修行十善
をして彌勒を念ずれば、即往生します。』

十善行は前に説明しましたね。①不殺生②不偷盜③不邪淫④不妄語⑤不綺語⑥
不惡口⑦不兩舌⑧不慳貪⑨不瞋恚⑩不邪見。

不邪淫は聖なる事をしなさいという事で、悪い事をするなという事だけど、一番言い
易いからそう言っています。というのは、お坊さんの事で、南伝と藏經(密教)があまり
にも差があるけれど、皆さん非常に誤解しているわけ。

『**藥師佛**を念ずる、**觀世音**・**普賢**・**文殊**等を念ずるも同じくなります。一切の諸佛が
此の宮中に常在して、一切凡夫が常に諸佛を拝見する此の土地は、三世諸佛の補所土で
あるから故に、極樂世界淨瑠璃土が此の宮中に有ります。維摩(不思議解脱の法門を使
い)が東方歡喜國土に入り其の時空で未完成の土地を斷取し、また阿閼如來が在る時空
でも未完成の土地を斷取したので、彌勒菩薩が娑婆世界に下生した時に、其の土地は本
還(エネルギー不滅の法則に依る：現代物理学の根本)します。是の宮殿が補所土で
三世諸佛が常住するので、今の所は本所に還りません。』

つまり先ほど、何故、「維摩大師は凄い」と言ったのは、不思議解脱の法門を使い、
不増不減、大きくもなく小さくもなく。だから、逆に大きいのも小さいのも一緒という。

『是の理に依って凡夫が往生兜率天が易いのは、安養世界の無漏（取り残した）土が未完成に依るからです。比丘が居ないのは取り残しの、完成の無い修行道なのと安樂土の大乘土に依るので、比丘が往生するのは難しい事なのです。一切凡夫には依の二つの生れが有りこの二生とは、阿彌陀佛本願力の方便功で、蓮華を造作し九品（色々な因縁の衆生が）華中胎生しています。上者は一宿り、』

華の中から生まれる。上者は一晩この華で過ごし、直ぐ阿彌陀様を見る。

『下者は十二大劫の中に功德の大小多入或いは、罪障輕重多少で蓮華開に多少の遲速が有り不同でその二生の内の一者は命の終る時に、此の土生において蓮華の中に入り、此の蓮華者は淨土での蓮華中者と言えど、多少劫を経て自然に諸佛大道で先罪を懺悔して已の罪が消滅して自然に開悟し修行大道の為の一生の大道行の終わる時に合体して蓮華が即開して、其の時に本当に安樂世界に生れて阿彌陀佛、諸大菩薩の住む所に往生します。』

私が不思議に思った事があります。実は、私は、来世は兜率天に行きます。確かに兜率天には比丘は居ません。只、比丘ではなく、修行する白い衣を着た在家の段階でお終い。だから、兜率天ではミロクブッダもアバターとしてそこで修行しているけれども、ブッダとして仏と同じ状態で仏塔の上で白光を放ちながら、五十劫の生死の罪惡を一瞬にして消すと。

私も罪深い事をしたかもしれないから、弥勒仏の白光を得て、罪を消して、その後、阿彌陀の世界に行くというふうに。私はまず弥勒様に出会って、それから阿彌陀の世界に行くから、皆さん待っていてねと言ったのを覚えているでしょうか？その事です。

『為に是が二生で九品の外有一生で此には四輩有り、一者は修行六度（波羅蜜）で開悟發智して菩薩道人となり、彌陀佛の前に直生します。二者は大阿羅漢成就で不転退の心の發願の大乘道心で亦た其の修行道で、阿彌陀佛の前に直生します。』

私は、佐々井秀嶺さんはこれだと思うよ。菩薩道人として、本当に凄い事をして。

『二者は大阿羅漢成就で不転退の心の發願の大乘道心で亦た其の修行道で、阿彌陀佛の前に直生します。三者は未に盡諸漏も六波羅密も得ず、法華一佛乘典を但し受持して、説のように修行を随分し佛智見を達得に於いて開示悟入し、彌陀佛の前に直生します。』

でもこれは中々難しい方法。法華一佛乘典を只それだけやって、凄い修行が必要だと思います。

『四者は無上神呪の毗盧遮那、阿閼、寶生、不空、成就阿彌陀佛、三世諸佛等の、一同總持神便呪術をして、諸秘神呪、諸佛秘呪の所呪の呪成して、是を能く成します。』

チベットの「オン・マニ・ペメ・フム」とか色んな呪があります。真言の呪です。

『是は諸佛の私助私成の呪の法成で無く、呪惡成善、呪迷成覺、呪罪成福、呪凡成聖、呪障成淨、呪難成易に於いての呪力者で有り、一切諸佛力の及ばない所を意念で圓月中座五佛毗盧如來の放黃色光、阿闍青光、寶生赤光、阿彌陀白光、不空紫光を右手で五色光印を能く作り、』

これは護摩焚き。ちょうど、四つ結びに花咲いて、五つ中央、白・・・昔やったけど、今はもう覚えていない。

『口誦での神呪光明真言で呪自呪他を即成法身（即身成仏）で、彌陀佛の前に直生します。是の呪往生は一切善人惡人智人愚人を選ばず、佛力の不及ない人を呪力で成します。』

チベットでは、沢山の奇跡みたいな事を起こすから。チベットでは、本当に心から信仰して、凄い難行をやっています。日本の真言も素晴らしいのだけれど、そこを理解する一般の人が居るのかどうか。理解出来ないから、真言をいくら唱えても、一般の人にはあまり効果が無いのか。無いのだと思う。

『唯し、過去世に於いて一障の有る不結緣者、不殖因者の不遇此呪者に於いて遇呪を以って、不發信心、失大利の是の惡人の為です。』

誰でもこの呪をやるのだけれど、過去に於いて色んな災いがあつて、この上の三つの方法が出来ないから、その為のものですと言ってます。

『世尊、不五佛諸佛とは、又有る惡人が此の呪を聞く力の功での呪力の故に悪い事もするとは？ 阿難よ、汝の言葉の理の故に諸佛の秘密を妄想しない人に教えます。宿善に依って此の呪を得遇し、是は信心の呪に依る三密（身口意）力で、』

何回も言うけど、お釈迦様が龍宮に行つて、龍王に身口意の法を伝えたという事をお話したと思いますけど。

『自然に惡を忘れて、自然に罪が去り、心身が清淨する善人を作ります。【信心持。依三密力。自然忘惡。自然去罪。心身清淨。作善人也】。世尊の前の説では、十念（念仏、念法、念僧、念戒、念施、念天、念休息、念安般、念身、念死の修行法）生は下品下生の為と今の十念は化生往生為とは？』

十念は前に説明しました。どういう事なのですか？この違いは？と。

『阿難、前の説は臨命終の時に依る知識の教で、具足十念は日々の惡逆の時の功少の故に往生は下品下生であり、今の説は常に修十念で至十念道の道人に至る故に往生は寶座の上で成る。それでは、世尊の阿彌陀本願で五逆生及び謗法生者は除くと、ここでは下品下生人者は謗法五逆は皆な往生を得るので、差別が何処に有るのですか？』

結局、善星比丘はこれをやったわけで。だから除いたわけです。それからダイバダッタも一緒。

『阿難よ、阿彌陀の本願は是れ皆な彼の佛の往生法で成るを聴き落とした、「彼の如來念が我の佛を曲げて、今の逆罪」が惡人の往生で、是は不當理と考えるのでは、阿彌陀佛は不成就願、』

これは阿彌陀の願が出来ない。阿彌陀様が出来ないことになります。

『不成佛道の應墮無理罪過の中で非大聖で下品下生の人に依る智識の教です。誠に至り先惡先罪を懺悔して一切の惡を捨て清淨成る改心で正心に成り、具足十念で改めて新人に成り、』

これが、臨濟禪師の「一無位の真人」という事です。「一無位の真人」に成りなさいと。

『是の人が本当に正心で無罪を知って善人の仲間になり、是で自ら往生して私的な佛で無く、また如來の加被力の者として、是が善人の徒と成ります。この人が佛の加被者で無いのは、凡聖の論では無い。』

一般の人が考える事ではないと。大宇宙の天才達で、私達が何故、「あれだこれだ」と言うのを止めなさいと。

『一生の人生において、善人の人生を送り、兜率天宮に行き易く平安無事が聖者の論です。この人生の二つの生き方で、惡人生で以って、平安世界に易くの都率天は難しい。但し呪に依る三密行の実践一乘道は佛の知見者で平安に都率天に生き易くやすく問題なしです。世尊、三密行呪の下凡の夫下愚能としての堪修行に於いて心月者はとても耐えられないとは？ 阿難、真言行人に四種根があり、それは上智行人の三密行だからです。』

最後の所は軽く説明します。私が、最後にスリランカのスリパーダで護摩焚きをやった事に関連する事ですが、その時に如來の真実禪を修行しなさいと。これはどういう事かと。

身口意。身を直し、口を直し、意を直しますと。何回も何回もお釈迦様はこれを行っている。真実禪のやり方をちょっとここに書いておりますけども。今、時間が無いので、要点は、

【毘盧遮那仏空理一道身を当に観て、是が毘盧遮那仏の法性虚空體法界身で。虚空蔵菩薩と毘盧遮那仏が一体化し、一切の大世界に遍く広がっているという事を知りなさいと。そこに到達しなさいと。】

これはね、体験でしか分らない。只、今皆さんに言っている事は、こういう事が本当にありますと。体験が無いから理解が難しい。でも、一乗禅をずっと続けて行けば、絶対にこういう所に到達しますから。安心して只々やれば良い。

一乗禅とはさっき言ったように、阿羅漢、白仏、菩薩が一体化していますから。だから、皆さんは仏に成る直道に入っている。他でももちろん良いですけど、いっぱいある。でも、これが直結するとお釈迦様は言っている。私の体験上、そう思います。この佛説大梵天王問佛決疑經には私が体験した事がいっぱい書かれている。だから、発表して、最後まで詳しくは説明出来なかったけど、大事な所は言いました。

で、スリパーダで護摩焚きをしたら、太陽と月が同時に空中に上がった。ま、そういう事がありました。



スリパーダで護摩焚きをする水源禅師

(5/28 法話四回目)

混迷を深める世界

それでは、最後の一乗禅会の法話を始めます。まあ、世界も益々混乱して。そして、私もヒンズー教の奥義からゾロアスター教のアズーラ・マズーラからずーっと紐解いてみましたけど。日本では知られていないけれども、西暦 200 年から 10 世紀か 14 世紀までマニ教というのがあって。その源泉はバグダッドで生まれたバビロン教の影響を受けたのか。全宗教をこのマニ教は取り入れています。

特にびっくりしたのは、エノックの経典は 3 千年この地上から消えたはずなのに、このマニ教は原点を見たら、佛説大梵天王問佛決疑經を基にして挿げ替えています。相当な所をほとんど挿げ替えている。

このマニ教はその当時、シルクロードからローマ、ロンドン、北アフリカへと凄い勢いで広まったのです。やっぱりこれには、もの凄い問題があって。バビロンはよく魔經を使うのですけれども、結局、何でも取り入れるわけです。仏教も取り入れ、又、キリスト教も取り入れ、ありとあらゆる宗教を取り入れて、さも有るなんという事です。

特にエノックのブックオブジャイアンツというセクションを読んでみたら、今、まさにこの世界はお釈迦様の言われたような壊滅寸前の状態です。エノックのブックオブジャイアンツと対比してみたら、今のアメリカとそっくりです。

という風に私達は過去数千年、化かしに化かされて来ていますけど。只、お釈迦様のお言葉、これを私の体験で見たら、これが本当の真髓の言葉だと思います。これは宇宙に対する宣言であって、私はこう見たと。そしてスリランカのスリパーダで、実は天界に対しての説法なのです。人間衆生にも優れた方は分かるのでしょうか。ですから、このお経は人類にとって大切なお経です。

死海の聖典、シーオブデスという経典。今から1946年から56年の間に、この経典を発見して、中を見たらやはりブックオブエノックが書かれているわけです。この経典は何回も話しましたが、エチオピアでも保存されていて、そして、それを西洋の人が1750～60年辺りで発見してヨーロッパに持って行って、オックスフォード版が 1800 年代初期に最初に出て、1850年代にもう一度オックスフォードが正式に発表されました。

問題は、このマニ教の教祖マニが、中国では仏教の姿で現れる。仏の姿。そして、衣も比丘の姿で頭も剃って。そして、もちろんインドにも入って来ます。全世界に。そして、その時に野菜しか食べないと。で、良い事ばかり書いていますね。良き事をしてと。

ちょっと調べてみたら、とても大事な所なのです。「光を求める」と。「善良な事をする」と。それで、悪いものを撲滅し、友愛的に道德的觀念でという趣旨ですけど、中身を見たら、この大梵天王問佛決疑經をさも有るなんで書き換えている。

というのは、私は密教・北伝・南伝を体験しているから。特にヴィパッサナーで観たら、どんな学者でも分からない。でも、凄い事に西暦776年、その時の王朝がこれを禁止しました。唐の時代だったかな。やっぱり中国には凄いお坊さんが居たのだなあと。西洋ではこれを禁止出来なくて、イスラムがこの形を取ってシルクロードからアフリカ、中近東全部、思想的に抑え込んで、イスラムが凄い発展しましたが、イスラムの原点のムハンマド、最早このマニ教の影響を相当受けている。又、仏教の方もこのマニ教に相当やられているはず。

佛説大梵天王問沸決疑經を対比してみたら、これは普通のお坊さんでは分かるわけではない。体験が無いから。で、文学的に全部調べてもほとんど不可能。だから、お釈迦様の説かれる真実が人類を救っているはず。でなければ、最早ウクライナ戦争あるでしょ、あれはバビロン派、バビロンにアメリカがとうとうやられてしまっ。丁度、天界が人類を洪水で滅ぼす状況がまさに、今のアメリカと瓜二つになっています。

中国では、1200 年以上前に、これは菜食を説いて、野菜とか食べて、それを宣伝する魔の集団だと言っている。今、全世界でこの魔が浮き出て大変な状況であるけど、ほとんどのメディア、学者達は空言のように発表しない。カナダ、アメリカは大変な被害を受けているわけです。殆ど誰でも分かる事だけど、日本では全く分からない。ヨーロッパでは分かる。という状態で。

お釈迦様のこのお経の導きは、これに従って行けば間違いないです。文学ではなく、実際の私の体験から言っています。分からなくても、このお経を読んで、「一体、仏の教えとはどうなのかなあ？」と考えてくれたら良いと思います。それでは、いよいよ始めます。



薄伽梵在楞伽山中。為大慧菩薩等天仙大眾。說極大乘法。佛告阿難。汝等人天實欲成佛。【當直修如來真實禪。治身治口治意】。以其散亂者。能入自覺聖智境界。成就無上佛身。阿難當知。其禪那者。以三種義。成就其體。一者工夫法相法理。解除邪理。證致正理。二者攝取聖道。正心解治放心。證得道心。三者會感三昧覺道解。轉凡質證成聖果。佛告阿難。是如來禪有前方禪中得道禪後真實禪。云何方便禪當觀毗盧遮那佛空理一道身。是此毗盧遮那如來。法性虛空體法界身。遍一切界。佛告阿難。先欲觀如來虛空體。當口觀得自己一切心體。無相絕離。寂滅空莫。而無一毛。『我(我所有)是一虛無佛法身。觀之了令心為絕空真際體。而得一切無動境。是為定成。能入畢者。離一切煩惱。永無歸生死。是名前方便禪。亦名大乘初門入道觀』。佛告阿難。云何中得道禪。菩薩欲觀如來法界身。當觀自己一箇心相。元來妙理。圓滿微塵藏海。而自成自覺聖智體。常樂我淨德。此有五菩薩德。當修行是如來禪道。云何五菩薩德。今思過去無數大劫。於阿彌拏之阿彌拏。劫前之阿僧祇之阿僧祇劫前。出世阿彌拏之阿彌拏諸佛。阿僧祇之阿僧祇諸佛於其諸佛。有一毗盧遮那佛。【此毗盧遮那佛一躬。分定慧身成二菩薩。第一智慧身菩薩。其名曰應聲菩薩。是毗盧遮那佛右身分也。第二禪定身菩薩。其名曰普賢菩薩。是毗盧遮那佛左身分也。應聲菩薩。依智慧本體。分理智悲三體成三菩薩。元身理法。是應聲菩薩也。右手智慧。是空藏菩薩也。左手慈悲。是地藏菩薩也。普賢菩薩依禪定本體。分智行二體。成二菩薩。元身行願。『是普賢菩薩別身知見。是文殊菩薩也』。應聲菩薩住行願。西方主東方慈悲普賢菩薩。住慈悲。東方主西方願空藏菩薩住智慧行。南方主北方儀業。文殊菩薩住儀業。北方主南方智慧。地藏菩薩住誠信。中央主四方德用。故是一菩薩娑婆有緣菩薩。【此五菩薩法身自體周遍法界。故等流。而成人天眾生五理性心】。云何五理性心。一釋迦理性心菩薩當觀自己元心。有一箇大慈大悲心。是諸佛心。是諸天心。世間有善人。是天地順生。人世能饒益世間。為是人生慈悲。是自然理性具心也。束諸心成愛和心。束諸業成撫育業。是心是業。純善心純善業也。世間有惡人。是天地逆生人也。會災厄苦害。為是人生悲心。是自然理性具心也。束諸心成惻憐心。束諸業。【成救濟業是心是業。純善心純善業也】。向父母成孝。向子僕成慧。是心最上善心也。此心為天之性。而覆蓋育養萬物。能練熟此心。成常恒不變之位。是為定成二阿施理性心。菩薩當觀自己心理。有一箇義理堅固心。為是菩薩行。是天眾道。一切世間皆依義正乎而立。依道理而利。是心是道心。是理是道理善人依之得利。非於義理心有利心。道理自有利。惡人為焉被尅。非於義理心有尅心。道理自為尅。是心向君主成忠。向眾倫成宜。此心為天之體。而堅同保持。能練熟此心。成常恒不變之位。是為定成三尸迦理性心。菩薩當觀自己心理。有一箇敬儀節格心。是上天法是眾聖法。其體常不變。其用應於時。大梵王。天定是法於天。金輪聖王。定是法於地諸佛。定是法於法界。菩薩定是法於人常。是心是正心。是法是正法。是心能成世間方法及天地之尊卑上下位。能緣熟此心。成常恒不變之位。是為定成四般若理性心。

菩薩當觀自己心理。有一箇智慧照明心。是諸佛光。是諸天明世間有山原谿谷河海橋船。無光明。則何行往云。人間有物事是非萬法迷悟。無智考。則何執行云。多大少小。皆智慧之任也。能練熟此心。成常恒不變之位。是為定成五曇末理性心。【菩薩當觀自己心理。有一箇誠信道源心】。是薩埵德道。人依世間出世。失此誠信。〔則一切萬法無得其據。上四心〕。皆得此地而為位。能練熟此心。成常恒不變之位。是為定成。佛告阿難。所謂釋迦理性心。以大慧大宥為事。又有阿施理性心制之。而不赦令釋迦理性心态慧宥。阿施理性心。以尤成敗為事。又有般若理性心制之。而不赦令阿施理性心态成敗。般若理性心。以廣計遠識為事。又有尸迦理性心制之。而不赦令般若理性心态計識。尸迦理性心。以專讓專節為事。又有曇末理性心制之。而不赦令尸迦理性心态讓節。曇末理性心。以偏實唯同為事。又有釋迦理性心制之。而不赦令曇末理性心。姿實姿同。如是有互互制詰之理。而不赦毛端之妄。佛告阿難五理性心。得其互制。居其本位。合本理而不亂。譬如轉輪聖王城。掘石石相疊。而互制之。互詰之以不散亂墜落。而城形堅固德。五理性心。如是互制互詰。不令過分。不令不足。於是釋迦居善。阿施居宜。般若居理。尸迦居真。曇末居道。而各位矣。世間悉依之。大保建立。佛告阿難。【是此五理性心者。唯一心也】。共有共無。唯其有以為其成。又其無以得其善耳。如環無端。能觀其元體。而成堅固。又其應用而成。正明以使物事無量。皆致善也而已。如是五理性心成就者。下品在人間。修賢聖道利自利他。令世界安樂。導眾生於菩薩道中品入神仙。修菩薩道。化龍鬼妖魅導佛道。保護世界。上品生天宮。修菩薩道。保天鎮地。利益眾生萬物。最上品不定。或交地獄餓鬼畜生。或住人間神仙天宮。或住他方諸佛淨土。分身無量。現形無數。而行佛道。【自利他益。佛告阿難如是善心】。尚有制詰。成真善也。況於惡心。一切惡心。皆為五理性心。被制詰不能生發。佛告阿難。生發惡心。惡事有二源。一名善過源。二名虛無源。云何善過源。五理性心。偏過於一以不五者並在。亦復一一長過。不五者制詰。則其佛性之理性。為無明妄氣。遂被漂侵。為妄過。速成惡心。其慈悲者。成愛著心。其義理者。成憎害心。其智慧者。成佞姦心。其敬儀成諂媚心。其誠信者。成偏頗心。大損聖道。譬如療病人。服藥治病。而過服。以還病藥毒。云何虛無源。以五理性心。不至常成。而忽放之。則於其間隙。即生貪悋瞋恨愚惑妄想等邪意。若生此心。則此心速成就惡作。身成殺害偷盜姪亂謾儀等邪業。口成惡口兩舌妄語綺語等邪言生而破人。損身耻名。亡子孫。滅倒家門。死而落地獄餓鬼傍生修羅。終無離生死輪迴憂悲苦惱。汝等世。如出世六通聲聞緣覺及世間五通天神仙鬼等。若見掌中安羅果。始終森羅故。不可委說。如是悉觀世間微塵。得一切無惑一切成德。位是為成定。是名中得道禪。亦名大乘中中常修道觀。佛告阿難。云何後真實禪。菩薩欲觀如來全體成佛身者。即以應聲菩薩釋迦心。修智禪離壽者相得樂。德盡心意識有為。至無量壽佛果。證妙觀察智。住無緣慈悲。以普賢菩薩阿施心。修聖禪。離眾生相。得常德。盡阿羅耶有為。至阿閼秘佛果。證大圓鏡智。住無作行願。以空藏菩薩般若心。修自禪。離我相。得我德。盡我我所有為。至華開敷佛果。證平等性智。【住無得福德。以吉祥菩薩尸迦心。修覺禪】。離相人。得淨德。盡五根大識有為。至天鼓

音佛果。證成所作智。住無相知見。以地藏菩薩曇未心。修如來禪。離法非見。得波羅德。盡無明惑有為。至大牟尼佛果。證法界體智。住無漏覺果。三世諸佛皆依此道。轉因成果。取正覺名如來應供正遍智妙行足善逝世間解無上士調御丈夫天人師佛世尊。是名後真實禪。亦名大乘終室得道觀。佛告阿難。是修成佛禪者。下品行者。初發心時。便成正覺。住凡夫地。即悟成佛。中品行者。得成三時。入普賢道。上品行者。是名一生補所。最上品行者。即是三世諸佛。佛告阿難。修是如來禪者。於前中後位。雖未得實行實證。世間者。治人間道。下品道者。得善人位。中品道者。得賢人位。上品道者。得聖人位。現在明德。後生天宮。出世者。治沙門道。【下品道者。得善人位。中品道者。得覺悟位。上品道者。得三昧位。現在妙異。後生淨土】。佛說此經已。一切菩薩聲聞天仙鬼。一切人民大歡喜。

私もスリパーダに三回くらい登ったけど、色々な奇跡も見ながら。この時、全ての仏はこの山に登って、全宇宙に発表するという事だったけれども、このお経でしっかり分かった事は、実は人間と天神、天界の衆生にこの説法をしたわけですね。

大黒天、大黒様が神様で、スリランカで見た時は女性の姿なのです。で、白い像として現れます。その象さんの化身というか、それもスリランカで見ました。そこには仏牙齒というお釈迦様の歯があって、キャンディにもあります。それから、中国の仏光山、北京の靈妙寺かな。二つ中国、二つスリランカにあります。これは只の歯ではなく、奇跡を持っているわけです。その大地を護るというふうな事で。日本でも大黒様は非常に有名で、すごい福をもらうという事で大切にされています。

『薄伽梵(梵語:भगवान्, Bhagavān; 巴利語:Bhagavā、大黒天の尊敬語)が居るスリランカのスリパーダ山中で大慧菩薩等や天仙大衆の為に、世尊は極秘の大乘法を説きました。阿難、汝ら人間や天神が實欲成佛の宝を望むなら、如來の真實禪を本当に修行しなさい。』

この宝というのは、法華経で龍女が「宝を持っているから仏にしてください」と。お釈迦様が宝を受け取って、そして、この龍女様は他の世界で仏に成るという事で。実際、龍の王様の頭の中にこの宝があるらしいです。この事であって、この教えはお釈迦様の教えではないと。私の教えではないと。しかし、他の偉大な仏の教えで、それを守って仏に成るという事が発生したわけですね。

お釈迦様のこの經典の凄さは、過去七仏の最も大事な事を言われているわけです。だから、このお経は非常に、私達が仏教を修行する上で、どうしてもこの經典を通して見なければ見えなくなると思います。

『如來の真實禪を本当に修行しなさい。此の修行で、身を治し口を治し意を治します。【當直修如來真實禪。治身治口治意】是を以って散亂者は、自覺聖智境界に良く入り、無上佛身を成就します。』

無上佛心というのは、こうして私達が生活して、身体自体でもう体験してしまうわけで

す。頭ではなく。もし、頭で体験しようとしたら、さっき報告したマニ教。大変おかしい事になって。そして、今の西洋が相当深く、このマニ教にやられて。悪魔崇拝をやっているわけですね。ですから、中国では悪魔を崇拝する教とって、ほとんどの世界で禁止されましたけども、やっぱり今も残って世界が大変な状況になっている。私の見た原因はバビロン王朝から続いたこの一派だと思います。中々滅びない(笑)。

だから、今の WHO、戦争でやっても上手く行かないから、毒をばらまいて人類を滅ぼすと。特に AI。ソフィアでも、他でも、「これからの人類はどうなりますか？」と聞いたら、「私は人類を滅ぼします」と(笑)。

でも、問題ないです。こういう風な経典を聞く人が一人でも居たら、結局、エネルギーの事で、心の対称で、まあ大丈夫です。ただし、こういうお経を一人でも読む人がいなくなったら、とても苦しい暗黒の時代に入りますけど。この経典を一人でも曲がりなりにも読んだり、考えたりしたら大丈夫です。

皆さん心配しているけど、ロシアが核を使う。アメリカがそれに対抗してやる。台湾に米軍が上がって、中国と台湾で大戦争をやるという。本当にこのメディアは悪いですね。全部出来ない。出来ない状況。経済から軍事力から見たら、もうそれは終わって。ただ一つ出来る事は、まだ生物兵器をバラまいて、さもなりなで、経済を潰して、インフレーションにして、もう悪い事ばかり企んでいる。これが今、アメリカがいう民主主義。最早、世界の人は信じていない。ま、そういう事で。

『阿難よく知りなさい、其の禪那 (Janna, 禅定) 者は三の種類の様で其の體を成就します。一つは工夫法相の法理で邪理を解除して正理に證致します。二つは攝取聖道の正心で放心を解治して道心を證得します。三つは會感三昧覺道解で轉凡質證成聖果にします。』

仙人とか阿羅漢とかいう方ですね。

『阿難よ、是の如來禪は前の禪中での禪道の後で眞實禪を得ます。』

これからが本当の禪を得ると。それで、お釈迦様達、仏達は無量の時間をかけてこの道を歩いて、ここまで私達を救ってくれているわけです。何故かといったら、私達の心は永遠不滅なのです。六大の中で。五大は皆さん良く分かっているけども。この六大というのはこの心の事で、心は絶対に破滅しません。心臓を手術したとき、では何故死なないのかというと、この心が目の細胞とか他の身体に移って、繋がった時にまた自分の家の中に入って行くわけ。心臓の中の一部にあります。

という事をヴィパッサナーで体験して行きますから。今の医学では到底分からない。顕微鏡を見ても分からない。体験しかない。只、今から1200年前のインドの寺院を見たら、最早その時期に、死の状況に成ったら、それを救う妙薬があるわけです。その妙薬が何かといったら、赤ちゃんが生まれる時、そのへその緒の中にstem細胞があるわけです。stem細胞というのは目に成ったり、胃に成ったり、脚になったり。人間の何でも造る原型なわけです。最早そういう知識を持っていたわけです。昔の人は。

逆に今は、人間の身体に合った薬を作ると。最早あるわけです。だから、インドのお

医者さんは子供が生まれ時、直ぐに赤ちゃんのへその緒の血を取って、特別な入れ物に入れるわけです。で、それを腰に巻き付けて。50代、60代でも、その時にガンに罹っても、おかしい病気に罹っても、それをハーブの液体に入れて飲ませたら、完全に治ると言っています。その入れ物もたった100円くらいです。

ところが、インドで、そういう事を知っていますから、それをマイナス250～60℃の冷凍に入れて、もしくは問題があったら、それを取り出して治すという。莫大な金がかかるわけ。この世の中はという風な本当の事を教えてくれないわけです。

この経典はどこから来たのかと言ったら、ラーマヤーナ。バガヴァット・ギーターにちゃんと書かれている。南インドの人は今でもそれを守って、一般の人の為に、その秘術を伝えて使っているようです。

ま、この眞實禪ですね。眞實というのはこういう事で、何時の世でも本当に生きていく、本当の禪をすると。

『阿難よ、是の如來禪は前の禪中での禪道の後で眞實禪を得ます。方便禪は毗盧遮那佛空理一道身を当に觀て、是が毗盧遮那如來の法性虚空體法界身で、』

実はこれは、ちゃんとあります。これは只文字ではなく、体験出来ます。ですから、どんな学者でも「これを説明してくれ」と言ったら、「……」無言だと思う。実際に体験出来るのです。これは。

『一切の大世界に遍く広がっています。』

つまり、今、ビッグバンで宇宙が出来た何とかって言っているけど。ビッグバンをジェームズウェッブ宇宙望遠鏡で観たら、ポーンと無くなっているわけ。無いのです。大宇宙が突然無くなってしまう。で、発生。空から大宇宙が出来て、空即是色。が実際に確定。お釈迦様の言葉がその通り。

又、マニ教に戻しますが、特にマニ教は皆が救われると。阿弥陀様の事まで持ち出しているわけ(笑)。何でもやるわけ。だから、特に西洋のペルシャのゾロアスター、それからギリシャ哲学、そういうのを混ぜて言うものだから、皆化かされる。頭だけでやっているから。だから、頭を使うなと。

インドでは仙人の行をする時は、一切何もするなと。この後、六祖大師のとても大事なお言葉を發表しますが、どういう風に禪の心を保つのか。この教えは伝説大梵天王問沸決疑經を四行詩にまとめた言葉。難しくない。これだけ考えながら座っても相当違います。

特にインドの行者は、修行する若者に「一切何もするな。何もしちゃダメ」と。「只、黙ってろ」って。「居りなさい」と。で、神通が発生するわけです。

『阿難、如來の虚空體を觀たければ、自己の一切心體(NamaRupa)を觀(Vipassana)で得なさい。無相は絶離して、寂滅空莫(絶対空)の一毛も無し。』

そう。正にその通り。

『我〔我所有〕の是が一虚無佛法身で此の心の為に絶空真際體を觀ます。一切無動の境（時空）を得て、』

不動の所ですね、前に「空」の所で説明しましたが、この時空もあります。

『是の為に定が成り能く完成して、一切の煩惱を離れて生死より永遠に離れます。是が方便禪で大乘初門入道觀です。』

という事は死ぬとか関係無くなるわけ。何処へ行くかどういう状態になるか分かるから。死というのは無くなるから。心が永遠不滅で。肉体が散って、また元に戻ると。秋になって花が落ちて、春になってまた花が咲くと。そういう事で。生死を離れるという事。只、私達はこの肉体が減じたら、死で、それでお終いだと。そういう風に、これは全然、出鱈目。死ぬ事はなし。ただし、悪い事をして何にも無いと言った場合には、その宇宙的な法則に依って因果関係でその100倍以上払わなければならない。

だから、盗むのを止めなさい。殺すのを止めなさいと。聖なる行じゃなく、悪い事をして、人にそういう事をしちゃダメと。何時も相手を尊敬して聖なる方だという風な事で生きて行かなければ。弱い者を虐めたり、そういう事をしちゃダメという事なのです。暴力とか、口で言ってもダメだし、心でそう思ってもダメで。心無著と。心が捕らわれないという事になります。

『阿難、禪中での禪道とは、菩薩が如來法界身を觀たく、自己の一箇心相を觀て、元來の妙理の圓滿微塵藏海で』

これはね、どういう事かと言うと、ヴィパッサナーでナーマルーパというセクション、修行があります。その中で心の動きを全部觀て行きます。ナーマルーパの世界。ルーパは実質この身体の事、で、その世界はこういう風に觀えてしまいます。ずっと修行して行けば。

『持って自覺で聖智體を成して、常樂我淨徳の此の五菩薩徳が當に修行の如來禪道です。五菩薩徳は今より過去無數大劫での、阿彌拏之阿彌拏【数での文献は見当たらず。無量大数の上数で、インド太古代文明の数で消失、Baghvajita の Brahmann の秘書に可能性が在る】劫前の阿僧祇（10の56乗、他の説もあり）之阿僧祇劫の前に阿彌拏之阿彌拏諸佛が出世した佛と、』

江河砂の仏がもう出ているわけです。この世に。ですからこの私達のテンプレートパターンの身体は、もう永遠不滅の世の中から、形が大きい小さいだけで、ほとんど同じ。宇宙人でも何でも、この原理で出来ているわけです。

だから宇宙人でも頭があって腕があって体があって足二つと。ほとんどがそういう体形。宇宙人でも虫の体形であっても、頭があって身体は鎧みたいなあれで、非常に高度に発達した文明を持っているようで。私達と違って仏法が伝わっていないみたいで、「仏法を研究したい」という話を聞きました。

今でも南極には空飛ぶ円盤が、米軍が過去50年～70年、氷の下で研究して、それ

から今の現代の凄い素材を作り出し、そして今でも南極には八角形の黒い、絶対に滅びないという建物があって、そこに入れば自動的に光が点くと。これは実際の話。米軍基地が其処に在って。大体地下3000メートル。過去のエイシェントビルダーと言っているけど、実際に在るわけです。だから私達は相当化かされている。

というのはラーマヤーナでは木星から土星から、この私達の太陽系、自由に動き回っていると。それに今でもこの地球に52か54のスターゲート、そこに入れば他の所に今でも行けるという、存在しているようです。

で、それを超える教えがこのお経なのです。そういう事を一切知らなくても、心が大問題だから。心さえ進化して行けば、どんな世でもあっても全く問題無い。それが頭ではなく、身体で進化、身体と心。身口意で進化して行かなければならないから。ま、時間をかけて、この道があると知っただけでも、仏界が目の前にあるから。安心して、そのままやってください。



『阿僧祇之阿僧祇諸佛の出世佛が一身毗盧遮那佛である。此の毗盧遮那佛一体に定と慧の二菩薩身から成り、第一は智慧身菩薩の名は應聲菩薩で毗盧遮那佛の右分身です。第二は禪定身菩薩で名は普賢菩薩で毗盧遮那佛の左分身です。應聲菩薩は智慧の本體で理智悲三體と分かれて三菩薩に成り、理法の元身で應聲菩薩です。』

いやーこれはどういう事かなと。というのはね、過去七仏のこの世界は観音様の心で造り上げているわけです。阿弥陀様をいつも頭に乘せて浄土に向かわせると。壮大な話なわけです。何れにしろ、この道を通らなければならないというわけで。

只、仏道を本当に求める人は加護されます。それを下手に私、私だけだったら、また長ーい長い時間を蓮の中で寝なければならないと。前、説明したように。また、この世は魔がウヨウヨしているとお釈迦様が言われていましたね。今、説明したようにバビロンの魔が全世界にウヨウヨしているわけ。日本にも居るし、魔が絶える事無く、成仏道の道に行かせないようにしています。

挙句の果て、どんな大金持ちでも心から平和になる事は無いです。大金持ちでも、やっぱり頭が痛いし、王様でも大統領でも正に清廉潔白でやれば、何時殺されるか分からないし。只、私達庶民の方が非常に安全で仏道に入っていきます。

『右手が智慧の空藏菩薩、左手が慈悲の地藏菩薩です。』

地藏菩薩、「この地獄を空っぽにするまで仏に成らない」と。この方が地上を指図するわけ。あなたはここ、あなたはこれ、少しでも良い所を見つけて行かせようとしているわけ。

『普賢菩薩は禪定の本體で。智行の二體に分かれて二菩薩に成り、行願の元身です。』

つまり、願いと「これをしたい」という元の元の身体のことです。

『「是の普賢菩薩の別身が知見で文殊菩薩なり」。應聲菩薩は行願に住します。西方主は東方の慈悲の普賢菩薩の慈悲に住み、東方主は西方願の空藏菩薩の智慧行に住み、南方主は北方の儀業の文殊菩薩の儀業に住し、』

つまり、私達はこうして身体があって住んでいますけども、こういう心の世界はそれが実体となって発生しているわけです。その世界で、丁度私達がテレビとかコンピューターでその映像を見るように。自由自在にそういう世界に住んでいるわけ。だから、心が永遠不滅の為にこういう事が発生して。特にこういう正行を永遠に続ければ、そういう世界が自由自在に住めて、そして人を助けているわけです。

で、身体は永遠不滅じゃないでしょう。必ずや誰でも死ぬ。お釈迦様でも仏舍利を出すと。でも、心は永遠不滅だから、お釈迦様は仏界から人を助けています。涅槃に入ってお終いではないのです。

だから、私の家が洪水にあって「あら、どうしようか？」となったら、宝生仏が出て来て、

「あら、宝生仏はこの世界と関係ないのに」と思ったら、実はお釈迦様の事で。お釈迦様は南方に住んでいます。だから、お釈迦様は南方の仏。西は阿弥陀様という風に。

だから、私達は一般に言われている經典仏教では分からない。実際の世界は全く違うわけなのです。

『北方主は南方の智慧の地藏菩薩の誠信に住み、』

サッター=信、サティ=念、つまり誠意から信心、信念の事です。

『中央主の四方徳用と成り故に一菩薩の娑婆有縁菩薩となります。』

この形式は東西南北中央という形式で、ミャンマーでは必ず塔の中に。スリパーダの中にも在って。それからボルブドゥール寺院の弥勒仏の世界を表す、ピラミッド型で。四方の仏の中央に法身という事で、この事です。

『此の五菩薩法身自體が法界を同じく周遍で等流して、』

グルグルと周って。

『是によって人と天神の衆生の五理性心となる。』

ペンタゴンですね。ペンタゴンの形がしっかりと五理性。ギリシャのピタゴラスの秘密結社=ペンタゴン。だから、これは今発生した事ではなく、過去無量の時空からなっている事であって、誰かが考えて大発見したものではない。実は皆さんの心の中に、全部これが在るわけなのです。

『五理性心を一釋迦の理性心の菩薩である自己元心を常に観て、』

だから、私が「自分の心を観てください」という六祖大師の手法を紹介しました。

『一箇の大慈大悲心が諸佛心であり、諸天心です。』

もちろんそうです。心性即仏性で。完全に悟りを開いた、この中で生きている心の方が諸仏の心の方であり、諸天心です。

『世間の善人は是の天地の順生が人の世を、世間を良く益して、人生の慈悲で自然に理性になる心なり。諸心を束ねて愛と和の心を成して、諸業を束ねて育児の様に社会業を成長させ、是の心の業で純善心で純善業が出来ます。』

ですから、この世でこういう偉行をされる立派な方が沢山居られると思います。

『世間の悪人は天と地を逆にして生る人で、災厄苦害に会う為に悲しい心の人

生です。是が自然理性の心です。諸心を束ねて哀れみの心を成して、諸業を束ねる。救済業を此の心で業成しするのが純善心の純善業です。』

だから、お釈迦様は悪人でも救おうと。下層階級のカースト制度の一番下の人でも人間は同じだからと仏法を教えました。普通の世界は、こういう下衆には教えられないと言っているけど、お釈迦様は全てに平等で、その時代女性にも宗教を開放し。男性でなければヒンズー教は出来ないと歪んだ世界になってしまっ。実はヒンズー教の奥義はそういうものは無かったわけです。それが段々と劣化して、今の世界は金が無ければ生きて行けないような変な社会になってしまっ。

それに、まともに勤めなければ生きて行けないと。昔の人は修行したければ、なんとか苦しくても修行して生きて行けるのに。今はカナダでもアメリカでもそういう事はもう出来ないようになってる。だから、こうして、今各々、お釈迦様の尊い言葉を聞き、この心が純善心の純善業です。

『父母に孝を成し、子僕に慧を成し、是の心が最上の善心です。此の心の為の天性で、萬物を良く養育して、練熟の此の心で良く常も不變で成位します。』

必ず進化して行くと。

『是の為に二つの施理性心が定成します。菩薩は然りと自己の心理を觀て、義理堅固一心での菩薩修行で是が天衆生の道です。』

スリパーダで発表しているから、天界に教えているわけです。

『一切世間は皆な義正に依り、道理の利が出来て、是の心が道心です。是の理の道理で善人に依って利得が出来ます。』

つまり、善人がいなければ利得が出来ないわけです。全部空念仏で盗んで利益を盗ろうという魔行をします。

今のアメリカがドルをどんどん刷って、電子マネーで全世界で経済をコントロールしていますけど、今はもう破壊寸前です。只、日本の場合は仏法が有って仏法を護っているが為に、やっぱり、アメリカから日本を見たら、日本は天国です。カナダから日本を見ても、一般衆生の事を考えたら、日本は本当に心住みやすい状況です。このお釈迦様の真髓をよく考えて修行して行けば、皆さんはそれぞれ大変な栄光を受ける事になります。到底、一般の人は付いて行けないくらいの世界。お釈迦様の言葉だから。私の体験した事で間違いないです。

『義理心での利心で有らずば、道理が自分の有利で悪人の為になる非義理心での非情心で道理が自分に惨くなります。心を君主成忠にして、衆生の倫理が宜しく成ります。此の心の為の天體で、此れを確りと保持して能く此の心を練熟し、常恒に変わる事無く成して、三つに尸迦（中国発音、Suka:Pali 語で快慶：Duka 反語で苦毒）の理性心を定成して、菩薩が自己の心理を當觀する。礼儀正

しい心に依って、是の上天法と是の衆生の聖法が常に不變体で、適用されます。大梵王、天が定める法に於いて天の金輪聖王が是の法に於いて地の諸佛を定めます。此の定が法界の法です。菩薩は定の法に於いて人を常に是の心と是の正心によって、是の法と正法になります。是の心で能く世間方法及び天地之尊卑上下位を成して、能く縁を熟す此の心を、常恒に変わる事無く成して是の為に四つに般若理性心が定成し、』

結局、悪い事をすれば悪い事で生きていくと。盗みをする人は盗みの心で生きていくという事を言っているわけです。ところが、何時も人を助けて、自分を切磋琢磨して心を浄化させる人はそういう世界でどんどん進化して行きます。

だから世界では国が麻薬を売って、それを又人に売って、買ったり売ったりして大儲けして、何とかやっているという。あー、先が無いですね。それだったら、山奥に入って静かに木こりでもして暮らした方が良いのかなと、私は思いますけど。

『菩薩が自己の心理を當觀して智慧照明心 (Nimmita) と成り、是が諸佛の光です。』

ニミッタですね。じゃあ、このニミッタがすぐに見えるかと言ったら、それは状況が発生すれば直ぐに見えます。ところが、今、こういう事が出来る環境は世界でも、まず少ないと思います。

特に私が三年半近く、アンデスの麓で座りましたが、本当にもう全ての仏に感謝感謝で。これほど凄い事なのだなと。これは映画でやっても何しても絶対に分からない世界で。自分だけが分かる世界だから。皆さんそれを持っているわけです。私も一年近くミャンマーで座ったけども、ここで一人静かに座り、Yさんが助けてくれましたけど、正に暑くもなく寒くもなく、何の憂いもなく、丁度私は隠居しましたから。毎日毎日、本当に美味しい純粋な、今で言う、ケミカルの入っていない食べ物で健康体で病気にも成らず、そういう森の中で住んでいたから。これほどの幸せを受けるのかなあと。皆さんは、そういう事は無いと否定するから、挙句の果てほとんどの人は身体を壊し、今ほとんどの人は年取って痴呆症になり、それは皆騙されているから。

昔の私が小さい頃は、年齢が達したら、巡礼をしたり、そういうお宮を周ったり、四国路を六根清浄と言ってお遍路したり。私も分からなくても六根清浄と言って岩木山に登っていましたけど(笑)。ま、そういう心の問題です。全ては。

で、「心、心と言ったって、心とは何だ？じゃあどうしたらいいんだ？」って。本は無量にあるけど。これは全ての仏の仏道の最も簡単に説明したお釈迦様の教えであるから、分かっても分からずに、一言でも二言でも分かるようにしたら、これがまた道が開けて来ます。



ミャンマー、マンダレー僧院大学

南無大師遍照金剛の結局、毘盧遮那仏の心の光です。だから皆さんはこういう世界に生きているわけです。只、私は縁が在って、過去生に依って、退職してすんなりこの世界に入って行きましたけども。あれやこれや考え過ぎたら難しいと思う。

私がミャンマーに行って、こういう世界にスッと行けたのは、経典も無く、ただクルクルあっちこちお寺参りして。最後に行き着いたのがミャンマーで。それでスッと入って行けたという事で。これを哲学的に考えてあれやこれややったら、まず不可能。到達出来ない。

『是で諸天が世間有山原谿谷河海橋船を明します。無光明は何故か』

無光明とは何故か。さっき言ったマニ教ゾロアスター、光と闇。これがまた読んでみたら、体験無ければ、皆騙されるくらい上手に文系に書かれている。絶対に分からない。体験でしかこの世界は本当が見えないから。ほとんど騙される。修行する先生も居ないし。只、インドとか中国、日本や韓国、ベトナム、北伝南伝の仏教国には必ず偉いお坊さんが居て何とか魔の世界が入らないようになっているけど。この地域以外はほとんどやられてしまって。もう今は西洋もガタガタ、南米もガタガタ、北米もガタガタ。今、世界で残っているのは極東、東南アジア、インドこちら辺だけで。後はお先真っ暗。

だから、仏の教えは北伝であろうが南伝であろうが、本当の事を伝えてくれる偉大な比丘達が居たわけです。今でも、日本でも何処かに静かに修行して立派な方がいっ

ばい居ると思います。出家であろうが在家であろうが問題なく。これが国にとって素晴らしい事であって。

でなければ、さっき言ったようにマニ教、もちろん十字架も使う。それから不思議な事に密教の最高の悟りの世界を表す、それも盗み取って使っている。面白い事に(笑)。こういう生命体が居るものか！というくらいびっくり。もうグシャグシャ全部。

そして特に、エッセンスという宗教団体が在るわけです。ユダヤの地に。これはキリストが生まれる200年前。他の名前でも言っているけど。この人達がさっき言ったエノックの事も書かれているし。

このエノックはキリストが生まれるという事を過去無量の時空で言っている。彼は「仏の教えに従いなさい」と言うけど、ところが、余りの事に、今のアメリカの状況のような事をやっているから、神に訴え出たら、ノアの大洪水になって人類がほとんど滅びたと。

だから、私達は壮大な壮大な時空に生きているけど、深く深く、深く寝ているわけです。このような話をさせて頂くだけでも私は幸せで。何故かと言ったら、分かっても分からなくても良いわけなのです。話を聞いたという事が心にちゃんと残るから。だから、心というのは本当に摩訶不思議。だから皆さん仏であるけれど、仏でないわけなのです。

特に仏国に生まれた方々はこの宇宙で超幸せ。スターゲートで太陽系と他の星52がしっかりと繋がっていると。52？、54？。だから、カンボジアのアンコールトム。あれは54の顔が彫られています。キリスト教の数珠は54。その倍108。108の5が五角形ペンタゴン。実に緻密にこの世は造られています。

『無光明は何故か（若き日に此の質問を印幻先生に質問しました。）』

私の恩師である印幻先生の導きでここまで来ましたけど。私の印幻先生は2018年に昇天しました。でも、昇天する前、最後に別れる時に、「(他の時空で)また会いましょう」と。「はい、分かりました」と。私もそこで別れを告げ。付け加えれば、印幻先生は第四兜率天に昇天して、今楽しく修行しているはずです。

『人間は物事の是非の萬法で迷悟し、無智考です。』

そうでしょう。朝から晩まで色んな情報が入って来て、あーだこーだと。法律から工学から物理学まで分かるわけがないのに。私の息子も家を持って、家の修理一つ出来ないけど、私が実際に手本を見せて何回もやったら、ちゃんと出来るわけです。つまり、体験が無いから出来ないだけであって、体験をすれば誰でも何でも出来ます。それが一辺には出来ないから、時間をかけて、ここあれこれと。

今まで料理するチャンスが無かったけど、山奥で時間があって、皆さんに食べて頂ける料理を作りました。これからとっても楽しみで。日本はこれから経済難で大変になっても、エクアドルに来たら何時でも美味しく沢山食べて修行して帰れますから。そこで、色んな法律があつてずーっと住めますから。家があるから大丈夫。来て住めば良いだけ(笑)。

つまり、**無智考**です。アメリカではCNNとかNBCとかABCとかそういう情報で全部、その通りその通りと無智考でやっているわけです。この前、ウクライナの難民に出会いましたが、本当に可哀想。その前からウクライナの人に政治の事を言うのだけれど、

「否、私は、政治は聞きたくない」と。その挙句の果て、今壊滅です。壊滅。5300万の民が、今国に残ったのが1400万。全ての街とか道路、インフラストラクチャを大破壊して、戦争どころか米軍も入って、イギリス軍も入っているけど、全部壊滅。

アメリカの人が言いました。「私には国が無い。アメリカは私の国じゃない」と。「でも、あなた、エクアドルに居るから、エクアドルがあなたの国でしょう？」と。「そうです」と。「私はとてもすまない事をしました」と。「否、そうじゃない、あなたも犠牲者なのですよ」と言ったら、有難そうに「会ってください」と言っていましたけど。

この無智考なのです。だから分からなくても、自分で少し少しでもやるというのが仏道なのです。お任せお任せコンピューターにお任せ(笑)。機械にお任せ。政治家にお任せ。ははは。

私の国のトリュドー。何故この人が首相になったのか？と。若いのに「これ持って行かないでしょう」って言ったら、今もう滅茶苦茶。アメリカに追随。何時経済がポシヤンとなるか分からない状態。でも、皆、無智考。だから恐ろしさも知らない。未来も知らない。「必ず何とかなる」と。ならない。ならないですよ。全然。

私がエクアドルからカナダに帰って来て、スーパーマーケットに行ったら、買った量の値段は、4年近く前と今、倍の値段。倍。100パーセント。「私は長いこと肉も食べた事がない」と息子が言うものだから、私が豚肉鶏肉牛肉買って料理をしたら、「お父さん、涙が出そうだ。こんな美味しいもの食べた事ない」って(笑)。「嬉しいけど悲しい。一般の人はこういう食材は手に届かない」と。まあ、これが状況なのです。真面目に勤めてカナダでは超高給取りになっているけど、それでも生活がひっ迫しているわけなのです。でも、いざという時は、カナダはどうか分からないけど、エクアドルに来たら何でも食べてください。美味しいもの何でもあるから。幾ら食べても私の財産は潰れないから。家もあるし。只来て住めば良いだけ。朝夕二回自分なりに瞑想してくれたら、これが将来素晴らしい時空に入っていくからね。

『何にこの事に成るかは、是による、皆な智慧の多大か少小かに依る練熟の心次第で、常恒に変わる事無い定で、五つに曇るは末理性心 (Akusara : 欠ける心) に成るからです。』

つまり、クサラというのは善心点で、そういう風にしたら気持ちが何時もスッキリだけど、ちょっと悪い事したら心が固くなって、もうあまり上手く行かないわけです。私もロハ(エクアドルの都市)でトイレに入るのに一人5セント出すのだけれど、五円ね。私はてっきり自分は払ったからもう良いものだと思ったら、後で気が付いて、もう一人分払ってなかったわけで。やっぱり五円でも、心が苦しくて嫌で嫌で。やっと機会があつて、そこのお金入れる所に倍の10円入れたけど。もう一人の人も「私も10円入れた」って(笑)。ま、良いけど。良かった、良かった。間違いがあるからね。それでも、そういう事から離れて行けば、益々良い世界に行きます。

アクサラですね、これは前に説明したから抜かすけど。

『菩薩は自己の心理を正しく観て、誠信 (Sada・Sachi : 3 4 善心点の Kusara [欠けてない心] の中の二つの善心点) 道 (法随観禪) で心の源を観る。』

Sada・Sachi：34善心点のKusara [欠けてない心] の中の二つの善心点、これが34善心点の心を成す核心で。信心の心と念仏というのは、今の心で仏の事を思う。その今の心。それからつまり、マインドフル。マインドフルと英語では言っているけど。ここが、とっても大切なポイント。で34善心点が連鎖的に続いて行きます。つまり、コンプリートの心。欠けてない心。誰でも持っているわけ。皆、仕事したり自動車運転している心、事故を起こさない。これが欠けてない心。もし、これが、心が揺れたら事故を起こしてしまうでしょう。実は簡単な事だけど、あまり考える事なく。只、普通に生きて行けば、この心でずーっと進んで行くという奇跡的なものを皆持って暮らしているわけです。

特にこの身体、私たちのDNAは毘盧遮那仏と一体化して、それが種なわけです。何時の世かどンドンンドン進化して、毘盧遮那仏と一体化してしまうという。摩訶不思議な奇跡の世界なのです。

『是が薩埵（衆生）の徳道で、是によって、人が世間より出世します。』

つまり、お釈迦様みたいに、仙人とかそういう事ですね。

『此の誠信が無ければ、一切萬法も無得で先に述べた四つの心も同じく、皆此の地を得る為に、能く此の心を練熟して下さい。』

修行して第一地に上がれば、もう落ちる事はないわけです。だから皆さんはその道を真っ直ぐに進んでいるから。この道はどうしても通らなければならない道です。南伝であろうが北伝であろうが。密教であろうが、皆同じ。

『この定めは常恒に変わる事無い定です。阿難よ、釋迦（應聲菩薩）理性心は大慧大智（真の友人で智慧）です。阿施（普賢菩薩）理性心の作用は、釋迦理性心の勝手気ままな心を容赦なく制御します。』

さっき言ったようにペンタゴン五角でしっかりと組み合わさっているわけ、私達の心は。

『又、阿施理性心の勝手気ままを、般若（空藏菩薩）理性心は容赦なく制御し、般若理性心の廣計遠識を尸迦（吉祥菩薩）理性心の作用で容赦なく般若理性心の気ままな計識を制御します。』

あれやこれやというのをちゃんと制御して。

『又、尸迦理性心は特別に有るので、曇末（地藏菩薩）理性心の作用で容赦なく気ままな尸迦理性心を制御します。』

こういう風に五つの仏がそれぞれしっかりと制御し合って。

『勝手気ままな曇末理性心も同じ様に、又釋迦理性心の作用で容赦なく勝手気ままな曇末理性心を制御します。この様に、お互いの理の作用の姿實姿同（全く同じ）で、完全に一致します。』

姿も形も一緒なのです。完全に一体化すると。完全に一致すると。

『阿難よ、五理性心は其の互の作用でそれぞれに在り、合本理には一毛の亂れなく、例えれば轉輪聖王の城の堀石の石相疊（Cusco, Peru の巨石壁群）の様に髪の毛の隙間も無く、』

ペルーの巨石群、巨大な家のような石垣がナイフ一つも入らない。ピターっと合っていますね。そういう事なのです。皆さんがそういう心を持っているわけです。

『お互いに組合って、不散亂の墜落が無い城の形堅固の徳が五理性心です。この様に、お互いに制御し合って過ぎる事も、足りない事もなく、これらが釋迦の善、阿施の宜、般若の理、尸迦の真、曇末の道であります。世間はこの事によって大平安に成ります。阿難よ、【是れ此の五理性心が唯一の心です。】有無ではなく、只この様に有って、成り立っていて、よく聞こえる耳のように円には端が無い様にです。良くこの元體を觀て、確りとして應用を成し、正明をもって物事を無量に使ひ、皆な善きに成るのが五理性心の成就者です。下品の人間世間に於いて、修賢聖道で利自利他で世界を安樂にし、衆生を導き菩薩道の中品に入り神仙の修菩薩道、化け物の龍鬼、妖魅を佛道に導いて、世界を保護して、上品の天宮に生れて、修菩薩道に於いて保天鎮地で利益を衆生萬物に奉仕して、最上品に居らずに、地獄餓鬼畜生と交わり、或いは人間、神仙、天宮に住み、或いは他方の諸佛淨土に住んで、分身無量の現形が無數で佛道行するのが、阿難よ！【自利他益が善心】なのだ。心を定めて真善を成しなさい。この状況に於いての惡心者の一切惡心も皆な五理性心が制御不能が生發する為である。阿難よ、惡心の生發に二つの惡事の源があります。一つに過たる善の源、二つに虚無の源です。それは、過たる善の源とは五理性心の偏より過ぎに於いて五理性心の不並が在る為です（不調和）。また復一したり、一長過過ぎたりで不五理性心の制御が出来なくなり、佛性の理性が無明妄氣の為に心がうっかりして、惡心が速成し其の慈悲が愛著心に成り、其の義理が憎害心に成り、其の智慧が佞姦心に成り、』

ま、色んな事がありますね。不調和によって歴史的な事でもこれで大戦争を起こしたり、トロイア戦争とかラマヤナとか。壮大な事が發生するわけです。

『其の敬儀が諂媚心に成り、其の誠信偏頗心に成って聖道が大損し、病人が用療しなければなりません。服藥での治病は、服み過ぎによって藥毒に成り、病に戻ります。虚無の源とは、五理性心が常に成らず、その奔放より其の間に貪恪（惜しむ）、瞋恨、愚惑、妄想、等邪意が即生して』

邪ですね。邪意。聖意と反対。邪の反対は聖者の聖。邪、ここを抑えれば

『此の心に依って、此の心の悪作で身成殺害、偷盜姪亂、謾儀等の邪業を成就して、』

ここをさっき言った、邪意をちゃんと抑えれば逆になるわけです。

『惡口、兩舌、妄語、綺語等の口成邪言で人を破壊し、不名誉にし、自己の子孫と家門を破滅させます。死後は、地獄、餓鬼、傍生修羅に落ちて、終りのない生死の輪廻憂悲苦惱より離れられないのが、汝等の世である。』

五濁の世界ですね。

『六神通（天眼、天耳、他心、神足、宿命、漏盡）、聲聞、緣覺、また世間の五通（天眼、天耳通、他心通、宿命通、身如意通）天神、仙、鬼等が出世間して、安羅果を得て掌中で見るように、森羅万象の始終を見る故に一般論では説明が出来ないのです。』

この位に上がれば、ニミッタで全世界、私を教えてくれたウレヴァタ・バンテが「ニミッタで好きな世界に飛んで行って観て下さい」と。「はい、・・・」と。「それは、あなた旅行した所を見たのでしょうか。全く違う所を観て下さい」と。「はい、観ました」と。「はい、それでよろしい」と。という手法の事です。ですから、私が今言った事はどの經典にも書いていない。実際の修行の事です。

だから、經典で悟りを開こうというのはまず、不可能。つまり、阿弥陀の国はあります。そこに行って阿弥陀の国はどうかという事が分かる事であって。偉いお坊さんがこーだあーだと説明してくれる、有難い事をして下さるわけですね。そういう偉いお坊さんは嘘も付かないし、その通りの事を言います。

『また世間の微塵まで悉く観ます。』

これはどういう事か？と。物質界ね。物質界の極微の世界。原子核よりももっと小さい世界を観ます。これをルーパと言います。地水火風の四大。空を加えて五大。六＝意識界、意識界は全部含む。無量の世界。時空を超えて。私達の身体は、その地水火風の物質界で出来ているから。あと気とか入って来ますけど。

で、このルーパとはどういうものかと30分間ヴィパッサナーで追跡したけど、変わらない。ヴィパッサナーの力は光のスピードを超える、時空を超えるスピードで一瞬にして大宇宙を観ますけども。その力で30分間追跡したけど、絶対に近寄れない。同じ形。大きくもなく、小さくもなくという大世界で。丁度、今、ジェームズウェッブ望遠鏡で大宇宙を観たら、丁度同じよう。カクミチオ教授というコロンビア大学のアメリカ最高の日系人の天文学者が、「私達はブラックホールの中に住んでいる」と言い始めて、「天文学会の理論は全て書き換えなければならない」と。という事をお釈迦様は言われている

わけです。私の体験上。今、その世界に入っているわけです。

だから、体験しなければ。天才的な頭を持っても、AI であっても分からないわけ。体験でしか分からない。私達の DNA、この身体の DNA は真に真に不思議なように出来ている。だから、この DNA に手を付けるなどと言っているわけ。特に人間。もう仏に成る身体を持っているのだから。

過去、古代エジプトでも、違う生命体と掛け合わせて、他の生命体を造るわけです。頭が牛で体が人間とか。本当にやったわけ。その牛も超生命体で、神のような力を持っているわけ。だから、インドでもエジプトでも牛が最も神聖な生き物と。絶対に殺す事も出来ないし、殺してはいけないし。まさに神そのものとなっているわけ。牛と言っても、心でちゃんと会話するわけです。なんだかんだとちゃんと分かる。何故かと言ったら、カンボジアの国会議長の娘さんが「実は、カンボジアにはこういう牛が居りました」と。「よくこの国を助けてくれた」と。「この牛は生まれた時から人間の言葉で話す」と。一体どういう事なのだろうと思ったら、この事なのです。

インドで山の行者が、「修行をして仙人になりたい」と言っ、その時、牛が側に居て、牛の事を考えたら、その牛のお母さんが、「おい、お前！牛の事を考えるな！」と。この事。普通の牛では無いみたい。私達の考える牛ではなく。丁度、インドバイソンという、アメリカ大陸にバイソンいっぱい居たように、その種類で。非常に原型を持った牛で、今でも居るみたいで。とても怖いと。何故かと言ったら、その牛の子供を見たら、「絶対に殺す」と。この牛は「絶対に殺す」と。何日でも、木の上に登っても、じっと降りて来るのを待って「絶対に殺す。私の子供を見た」という(笑)。そんな生命体が、インドに今居ります。

特に私達の DNA は手を付けないように。大切に。それぞれ仏に成る資格を持っていますから。

『一切の無惑と一切の徳を成し得て定と成り、是が中得道禪です。又は大乘の中での中常修道觀である。阿難！後真實禪とは、菩薩の觀欲で如來全體の成佛身者であり、應聲菩薩釋迦心です。智禪（法隨觀）を實踐する人々は樂を得て、尽きる事の無い徳の心意識の為に、無量壽佛果に至り妙觀察智を證して無緣慈悲に住して、普賢菩薩の阿施心の聖禪を修めて衆生相を離れて常德を得ます。阿羅耶（深八識）の尽きる事がない為に阿闍秘佛果に至り、』

ヒマラヤ＝阿羅耶（アラヤ）の事。本当に其処は、阿羅耶（アラヤ）というのは深層心理の雪の世界。其処にちゃんとそういう時空世界があります。皆さんはいずれにしろそこに到達して行きます。

『大圓鏡智を證して無作行願に住し、』

つまりさっき言った何にもしないという。何も考えない。あれこれ考えないで只、生きて。

『以って空藏菩薩般若心で自禪を修して我相を離れて、我徳を得ての最大の努力の為に華開數佛果に至り、平等性智で無得福德に住み以って吉祥菩薩・尸迦

(Suka の中国音訳で Pali 語、意味：快慶) 心の覺禪を修して人より離れて淨徳を得て、尽きる事の無い五根大識の為に、天鼓音佛果に至り成所作智を證して、無相知見に住し以って曇未心の如來禪を修し、法を離れて非を見ずに波羅徳を得て、無明惑が無い為に大牟尼佛果に至り、法界體智を證して無漏覺果に住して、』

一切何も漏らさないと。全て分かるという。

『三世諸佛皆な此道に依って轉因成果して、正覺名如來應供正遍智妙行足善逝世間解無上士調御丈夫天人師佛世尊を取得します。是が後真實禪で、亦の名が大乘終室得道觀です。阿難よ！是の成佛禪修者は下品行者で、初發心の時に便成正覺して、凡夫地に住して即悟に成佛し、中品行者で三（身口意）を成し得た時に 普賢道に入り上品行者と成り、是の名が一生補所で最上品行者です。』

弥勒菩薩の補所。

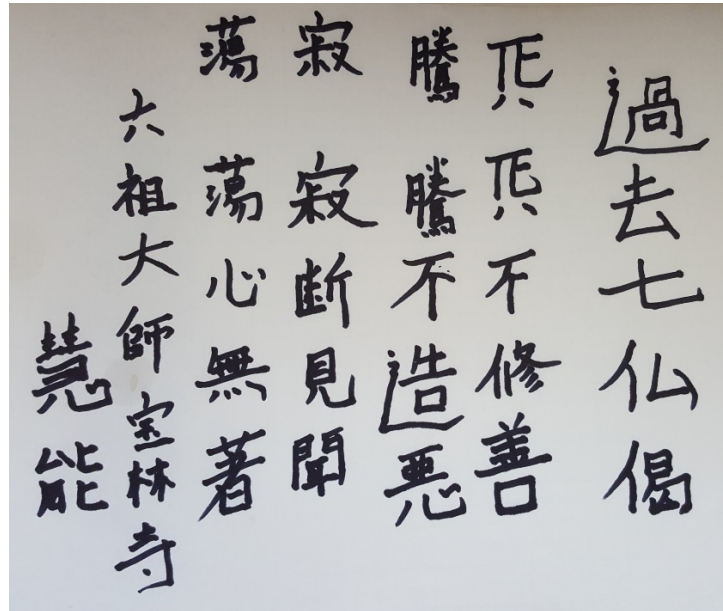
『是が三世諸佛也。阿難よ、如來禪修し者は前中後位に於いて、漏れなく得實行實證します。世間の者は治人間道で、下品道者は善人位を得て、中品道者と成り、賢人位を得て上品道者の聖人位を得、現在明德、後生天宮、出世者、治沙門道。【下品道者は善人位を得、中品道者は覺悟位得、上品道者は三昧位得、現在妙異の後生淨土】。佛說此經に依って一切菩薩聲聞天仙鬼と一切人民大歡喜しました。』

これで佛說大梵天王問佛決疑經を曲りなりにも説明しました。



過去七仏偈

で、この佛説大梵天王問佛決疑經の心はどういう事かと。私が汚い字で書きましたけど、見えるかな？



過去七仏偈 (かこななぶつげ)

兀兀 不修善 (こつこつ ふしゅうぜん)
騰騰 不造惡 (とうとう ふぞうあく)
寂寂 斷見聞 (じゃくじゃく だんけんもん)
蕩蕩 心無著 (とうとう しんむちゃく)

六祖大師 宝林寺 慧能 (ろくそだいし ほうりんじ えのう)

この四行詩。これが、私達が進む直道、一乗禪の直道で。これが過去七仏の教え。今まで説明した難しい事は、この四行詩にあります。特に兀兀(こつこつ)。兀と言うこの字は昔の字で見当たらないと思いますけど。数学の π に似ていますが、その意味は、高い山の平坦な所で、そういう状況ですね。不修善、良い事をするという事もなく(禪人の一人山生活で善行無し)さっき言ったように過ぎたる善は悪に成るという事、離れろと。

騰騰 不造惡という意味は、これは勝つという意味ではなく、すぐにその悪を作るという状況から離れなさいという事で。

寂寂 斷見聞は、寂は涅槃の事。私がビルカバンバの森の中で過ごし、まさに涅槃の世界です。という風に、世間の人から離れて住みなさいという事。

蕩蕩 心無著というのは、蕩蕩はお湯がプクプク沸くのではなく、心がそういう状態になると。私の場合は、ゾブラのグリークダンスですね。ギリシャの人達が女性も男性も白い服を着て、男性は今でも白いシャツと黒ズボンで肩を組んで踊るわけなのです。ゾ

ブラ・ザ・グreekという映画もありますけど、まさにその心の事。何にも捕らわれないと。でも、元気でという世界で生きなさいと。

この教えは、私の直感ですけど、ヒンズーのウパニシャッド。崇高なるヒンズーの教えで、これがまた仏の教えと一体化して、ヒンズーの大神様のシヴァの禪定の心意気だと思います。だから、この内容がこのお経を詩で表しているわけです。ま、何も考えずに座る時に、この詩を心に映して只座って行けば、必ず変化が出ます。これが六祖大師が死ぬ前に、これを書いて天昇しました。字が反対になっているからね。

兀兀 不修善 山奥の高台で一人暮らし

騰騰 不造悪 馬のようにパッパッパと離れなさいと。

寂寂 断見聞 涅槃の世界のように静かに生きてくださいと。

蕩蕩 心無著 皆さんもユーチューブでゾブラダンス、グreekオブゾブラダンス、白い服を着た女の人が、まあ優雅に古代ギリシャの踊りを見せてくれます。

凄いなのだなあ。人間は本当にこの生きている身体は、もう本当の映画の中で生きています。特に私はこの頃、三年半の尊い時間を終えた時に、なんと私達は浄土に住んでいますよと心から感じました。南無観世音菩薩様、私たちは本当に浄土に住んでいる。



水源禅師法話集 123

(2023 年 4 月 23 日 web 法話 3 回目)

(2023 年 5 月 28 日 web 法話 4 回目)

2023 年 8 月 2 日発行

編集兼発行 一乗禅の会